

『環境教育と癒し空間』のシステム構築 調査研究

平成19年3月

但馬豊岡観光協議会

『環境教育と癒し空間』のシステム構築 目次

・前提条件の整理	1
1．観光等の動向	1
2．関連計画等の整理	1 8
・教育旅行等に関する現状分析	2 1
1．教育旅行の動向	2 1
2．既存観光資源の整理	3 6
・システム構築の過程及び具体化方策	3 9
1．豊岡市教育旅行実現の過程	3 9
2．豊岡市教育旅行システム	5 3

参考資料

．前提条件の整理

『環境教育と癒し空間』のシステム構築に向けて、修学旅行や教育旅行を中心とした前提条件の整理をします。

1．観光等の動向

1 - 1 社会の動向

一般的な社会動向の中で、人口減少、合併後の地域創造の方向性の視点から整理します。

(1) 人口減少社会のイメージ

特に、大都市圏内及びその近郊地域以外での人口減少社会の問題については、地域コミュニティを担う人の減少による地域社会の崩壊が予想されることから、行政頼みではなく役割分担や協働により地域づくりを進めることが大切です。

具体的には、人口減少の動向では、高齢化率が高まり、高齢者も生きがいを追求する74歳までと、75歳以上に分けて考えることが大切です。支え方の変化では単身世帯の増加、少子化では経済性・利便性重視から安全防災重視へと新たな課題が現れています。また、人口減少により顕著になる課題では、特に後期老年層は各地域で共助の中で住む、団塊世代の定年退職が大量発生する大都市

圏と連携等の強化があげられます。

このまま手を打たずにいたら、人口減少や高齢化による地域集落の衰退、観光・農業・商業の活力低下、行政に対する依存度の拡大などが危惧されます。

今後の地域づくりにおいて重視すべき視点では、人口や経済の右肩上がりの社会構造や制度の見直しと、安定的、持続的発展を目指した地域構造、制度づくりが必要となります。また、地域の様々な主体による活動の連携、求められる新しい高齢者像の実現、多世代でも支えあう多様なしごとづくり、主に治山治水の視点から中山間地域の空間管理技術の工夫、役割を明確化するなどの転換があげられます。

(2) 平成の合併自治体に共通する課題と対応方策としての観光振興の位置づけ

平成の大合併が一段落し、新たに誕生した合併市町村において様々な計画づくりが進んでいます。前提条件の整理として、地方分権等の流れの中で、特に合併市町村の計画づくりに焦点を当てて、計画づくりの課題、新自治体としての再構築の視点等について、具体的な合併自治体を対象としつつ、合併市町村がかかえる計画づくりの課題とその対応策を明らかにします。

合併市町村における新しい方法論が必要な項目

計画づくりを取り巻く背景、合併市町村の特異性と課題、再構築の視点等より、合併市町村の課題への有効な対応策として以下の5点が考えられます。

図表 課題と対応策

課 題	対 応 策
広域的な位置づけ等の変化	(1)まちの基本目標の明確化
行政区域の拡大に伴う、非効率な行政運営	(2)官民協働による新しい公づくりの実現
一自治体としてのまとまりの形成	(3)住民・職員参画の具体化
旧市町村要望的事業の精査	(4)総合計画の戦略計画・経営計画化
類似団体に比べ、過剰な職員数	(5)地域経営の確立と雇用の創出

合併市町村における観光振興計画の位置づけ

観光振興計画の位置づけとして、計画づくりと地域振興の視点から、上記のと を採り上げます。

旧市町村要望的事業の精査：総合計画の戦略計画・経営計画化

旧自治体の要望的事業の精査の課題が生じ、その解決のために、従来の“あれもこれも”ではなく“あれとこれ”の「選択と集中」方法を住民にもわかりやすく示し、戦略的・経営計画的な計画づくりを進めます。

類似団体に比べ、過剰な職員数：地域経営の確立と雇用の創出

類似団体に比べ、過剰な職員数への対応を含めた厳しい財政状況の課題が生じ、その解決のために、財政状況に見合った地域経営的な視点を重視し、ストックの活用、地域資源の高付加価値化や自治体内外の交流・連携の強化、コミュニティビジネスや6次産業化によるサービス業の高度化により、知識・技術・生産現場・社会要素(資本)を踏まえた生産・生活・活動(コミュニティ)・環境の各分野が連携する地域マネジメントづくりを進めます。

観光・交流を核とした新自治体のまちづくりスキームの提案

合併直後の観光計画づくりにあたり、以上5点のまちづく課題に対応することが大切ですが、時代背景や地域資源に基づく個性的で魅力的なまちづくりを進め、若者の定住促進など地域の課題を実現するためには、観光・交流を核としたまちづくりの戦略が最も有効、且つ実現可能性が見えるテーマであるといえます。

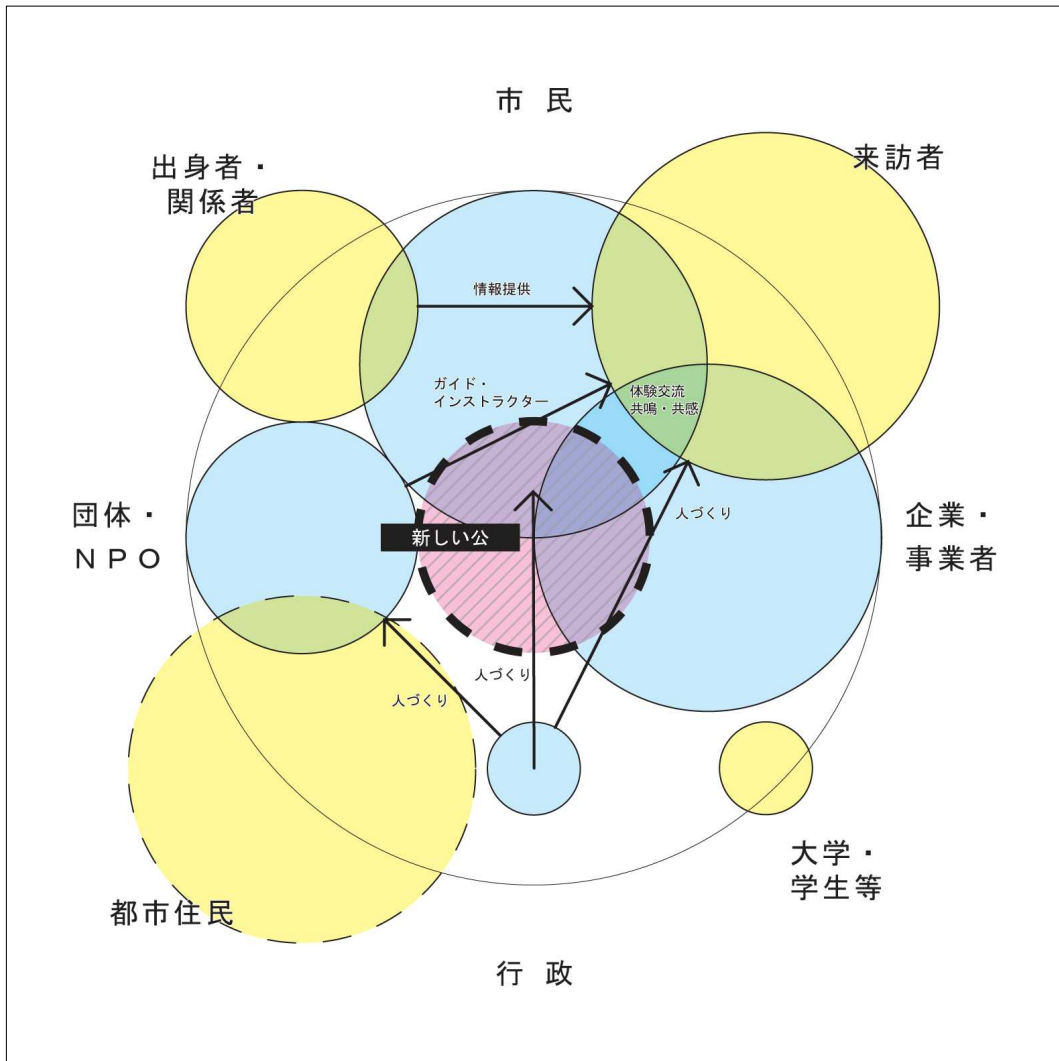
(3) “新しい公”づくりへのプロセス

観光産業は、旅行業を中心に、運輸業、宿泊業、飲食業等の幅の広い産業に関連する裾野の広い総合産業であり、他産業への需要・雇用創出効果等の経済効果が非常に大きいことから、21世紀の有力な成長産業の一つであるとして期待と関心を集めています。

地域振興という視点では、行政中心であった“従来の公”の時代から、行政をはじめ、地域内の「住民」、「団体・NPO」、「企業・事業者」の4つの主体の役割分担、さらに、地域外から「出身者・地域関係者」、「都市住民」、「大学・学生等」、「来訪者」の4つの主体の支援による“新しい公”によるまちづくりを進めることが求められています。

観光・交流を核としたまちづくりでは、それを支える新しい公”づくりは、「企業・事業者（観光関連業）」、「住民」、「来訪者」の3者の体験交流や共感・共鳴によるまちづくりが求められます。特に観光関連団体等の連携を中心とした新しい公づくりが重要であり、一自治体としての融合、一体化には時間がかかること、また、新自治体としての新たな課題が生じることも予想されることから、焦らず継続的に対応していく組織の形成や人材の育成を図ることも大切です。

図表 観光・交流における新しい公の位置づけ



1 - 2 観光の動向

ここでは、観光の動向として全国、但馬地域、豊岡市について整理します。

(1) 全国的な観光動向

近年は、体験、交流、学習をはじめ、本物志向や健康志向等のニーズの多様化にともない、観光形態は、従来の通過型・団体型(マストゥリズム)から、訪れる地域の自然・歴史・生活文化・人とのふれあいを求める「交流型」・「個人やグループツーリズム型」へと変化しています。さらには観光のグローバル化など、観光マーケットは急速に変化してきており、地域再生や地域創造にむけた観光客の誘致に関して国内外で地域間競争が激化しています。

成熟社会を迎え、近年、旅行形態が団体旅行から個人旅行へ大きく変化する中で、インターネットや携帯電話など情報技術の充実により、情報の受発信方法も多様化・利便化の方向にあります。また、国土交通省から、資金が乏しい特定非営利活動法人(NPO法人)等でも、自ら企画したパックツアーを扱える地域限定の旅行業創設の方針が出されました。

事業システム形態としては、従来の旅行業者主導の観光振興方策ではなく、宿泊業者や土産業者等の狭義の観光関係者、行政や地域住民、農林水産業者、商工業者、教育関係者等の幅の広い関係者が一体となって、その地域にしかない、その地域らしい資源を発掘し、磨き、観光商品化し、市場流通させていく「地域発信型」観光振興方策が求められています。いわゆる発地型から、観光目的地の地域住民等が主体的に企画推進し、地元ガイドの養成など地域・住民との結びつきの強化により、持続可能性の高い「着地型」への移行が始まっています。

宿泊をとまなう国内観光旅行は近年減少を続けていましたが、景気の回復基調

を背景に、平成 17 年度は、年間一人当たりの旅行回数が 1.82 回（平成 15 年度は 1.70 回）、同宿泊数が 2.94 泊（同 2.81 泊）と増加しており、国内宿泊観光にも回復の兆しが見られます。（国土交通省作成「平成 18 年版観光白書」）

さらに、平成 19 年から本格的に団塊の世代が定年退職を迎えますが、この世代は時間的・経済的にゆとりがあり、余暇活動にも積極的であるといわれています。今後は、この世代が生み出す新たな需要により、観光面も含めて、活発な消費活動が促進されるものと期待されます。団塊世代の将来余暇ニーズについては、

温泉地での滞在・湯治、 風景や景観の鑑賞、 名所・旧跡の訪問、 郷土料理などのおいしいものを楽しむ、 ドライブ、 世界遺産、 話題の観光スポット、 リゾート地での滞在、 伝統的な街並みを訪ねる、 アウトドア の順に多く、また、男女差も大きいのが特徴です。（「レジャー白書」2006）

このような状況の中で、平成 18 年度には「観光立国推進基本法」が制定され、兵庫県では「ひょうごツーリズムビジョン後期 5 箇年計画」が策定され、観光に対する新しい取り組みがはじまっています。

(2) 但馬地域の観光動向

但馬地域では、市町村合併等により但馬観光連盟が解散し、地域全域を対象とした観光推進組織が無くなり、観光客のニーズ等に対応した地元資源や人材を生かした新しい組織づくりが求められています。

そこで、但馬観光連盟の役割と教訓を分析し、今後どのような推進体制が求められているか、観光推進体制の現状と課題を明確化し、各地区における動向を整理します。

1) 但馬地域の観光推進体制の現状と変化

但馬地域の立地条件は、京阪神より 2 ～ 3 時間の時間距離にあり、鉄道では JR 山陰本線・播但線、北近畿タンゴ鉄道（第三セクター）、自動車専用道では北近畿豊岡自動車道・播但連絡自動車道、国道 9 号、空港はコウノトリ但馬空港と隣接県の鳥取空港があります。人口は約 20 万人で、地域内に 4 年制大学が無く、高等教育機関への就学と就職問題等により若者が流出し、人口減少と高齢化が同時に進み、地域再生に向けた地域振興が課題です。このような状況の中で、平成の合併が進み、1 市 1 8 町が 3 市 2 町となり、新たな行政枠を意識しながらの地域づくりの模索がはじまっています。

本地域の観光については、観光客の入り込み客数は約 1,000 万人、宿泊率は約 23% です。温泉宿泊観光地の城崎や湯村、城下町の出石、スポーツ合宿等の神鍋高原、カニ等の魚介類を提供する民宿宿泊地の香住など、独立型の宿泊観光拠点を形成してきました。このような地域特性を受けて、地域全体の観光推進組織として但馬観光連盟が設置されましたが、市町合併等を機に平成 1 6 年度末に解散し、地域全域を対象とする観光推進組織が無くなり、今後の組織づくりが課題となっています。

一方、交通条件については、近年、道路整備が進み、北近畿豊岡自動車道が和

田山 I C まで延伸、鳥取豊岡宮津自動車道の一部区間が供用開始され、国道 4 8 2 号の蘇武トンネルも開通したことにより、京阪神からのアクセスが改善され、トンネル整備等により地域内の回遊機能も向上してきています。

以上のような状況の中で、コウノトリの放鳥による地域環境づくりをはじめ、参画と協働による上山高原の保全等のシステムづくり、架け替えに伴う余部鉄橋観賞や遺産価値の見直し、町並みの重要伝統的建造物群等指定や山陰海岸国立公園の自然遺産指定に向けた取り組みなど新たな動きも生じていますが、観光客のニーズの多様化に伴い、地元資源や人材を生かした組織の充実が求められています。そのためには、ニーズにあった受け入れ体制の改善が必要であり、N P O の創設や観光関連団体と地元住民が力を合わせ、従来型にはない新たな推進体制をつくる動きも芽生えつつあります。

2) 但馬観光連盟の役割と教訓

但馬地域の観光振興ため、行政と関連団体等で構成していた但馬観光連盟は、但馬観光アクションプログラム（平成 10 年度）を策定しました。しかし、事務局機能は、県と市町の各行政からの出向者により構成される但馬広域行政事務組合に併設されていました。従って、理念（コンセプト）、イメージの継続的な共有が難しく、但馬方式の探求が弱かった等の問題点があげられます。

このような状況の中で、但馬地域全体としての取り組みよりも市町合併による新たな自治体としての観光振興方策を重視し、連盟の機能は、地域づくりの推進を目的として平成 7 年に設置された（財）但馬ふるさとづくり協会へ継承されることとなりました。

3) 特徴的な体験メニュー

旅行者ニーズが高い体験について、但馬地域での主な具体的取り組み内容を整理すると次のとおりです。

農事・漁業：クラインガルテン、棚田オーナー、田植え・稲刈り・餅つき、田舎暮らしセミナー（農業体験）、地曳網 等

天体観測：望遠鏡による星空観測

料理教室：牛肉のたたき・焼きちくわ・干キス・干カレー・干スルメイカ・みりん干し・そば・こんにゃく・豆腐づくり、あまご・鹿肉の燻製づくり、うどん打ち、炭焼き、新鮮で旬の魚をメインとした料理教室（出前） 等

フィッシング：釣ったアジの天ぷら料理、虹鱒（ニジマス）、イカ、ヤマメ・アマゴ、鮎等の釣り 等

スポーツ教室：人工スキー、カヌー、パラグライダー教室、スキューバダイビング 等

町並み散策：温泉街を浴衣で散策（「ニュー着物」を着て城下町を散策） 等

工芸・陶芸教室：てん刻・縄文土器・ゲル組立などの体験教室、クラフト教室、「麦わら細工」製作体験、やきものづくり、出石焼絵付体験 等

アウトドア教室：植物の名前を学ぶ勉強会、アユ・アマゴのつかみどり、市民団体と一緒に生きもの調査やピオトープづくりの管理作業等への参加、砂金採取体験、旧鉱山跡地での自然体験・鉱山学習、草木染め、つる細工、かんじき作りと雪上ハイキング、ネイチャーゲーム、マウンテンバイク、野外活動の指導、まが玉・わらぞうりづくり、魚つかみなどの体験 等

空港体験：JAC 航空教室や紙飛行機教室、セスナ体験飛行、空港施設・軽飛行機見学会、スカイダイビングスクール、空のドライブ 等

4) 但馬地域における取り組み事例の整理

具体的事例の概要

具体的な事例としては、エコミュージアム、歴史的町並み保存・活用、野生復帰、そばや酒造等の食関係、スノーケル・地引網・カヌー・スキー等のアウトドアスポーツ、農業体験、体験民宿、教育旅行の誘致、地質・地形の自然遺産・近代土木遺産の保存・活用等があげられます。

具体的事例

具体的な事例の中で、特徴的なものを以下に整理します。

図表 具体的事例の評価のための主な取り組み内容の整理

事 例	豊岡市出石：出石まちづくり公社等	豊岡市：兵庫県立コウノトリの郷公園等	豊岡市日高：カニ共和国等
観光商品の形成	城下町散策、歴史・文化体験、観光ガイド、レンタサイクル	観察・学習等	カニ料理、スキー、グラススキー、温水プール、パラグライダー、テニス
情報発信	公社直営・グループ店巡りマップ	観察日記、通信、ライブカメラ	加盟宿の旗
送客との連携	公社直営旅行代理店：地元（第三セクター）旅行業者	ファンクラブ	特産品直送便
季節対応	イベント企画実施	イベント企画実施、観察日記、通信、ライブカメラ	主に冬季
事業化への地域関係者のネットワーク	まちづくり公社：第三セクター、観光協会：NPO法人	コウノトリパークボランティア	神鍋高原の宿の中で、目的を同じくする宿が結束して、設立・運営、公社
研究・研修等による質の確保	重要伝統的建造物群等指定への取り組み	市民研究所：メーリングリスト運営、基金設置	
備 考			カニ・スキーバス

事例からの教訓

事例から整理すると、自分たちだけでは実現が難しい点等は、多様な主体と連携して、組織の設立が必要です。また、拠点的観光地型（城崎、出石、湯村等）から、それらを核としてその周辺の資源・人材とのセット化（魅力化、アクセス改善）さらに各資源等の連携・自立化を進めることが大切で、その場合、季節のメニュー、クラブ化、人材育成等が重要です。

今後のあり方の提案

体験型、着地型観光地づくりに取り組んできているのが共通した特徴となっています。具体的には、従来からの観光拠点や取り組みと有効に連携していくことが必要であり、また、観光事業者と地域住民との連携や活動が活発化し、その取り組みを行政や旅行業者が支援するといった動きが出てきています。

したがって、旅行者のニーズをまず把握し、それに対応した現地での受け入れ体制等の改善が大きな課題となっています。その場合に重要となるのが生業、生活・活動（生活文化）、環境基盤の相互連携で、持続性、地域の産業の核として発展していくことにより、観光地内での共感や満足を産み出していくことが不可欠です。

観光客の動向は、県立コウノトリの郷公園や余部鉄橋を訪れる観光客の増加等により前年度と比較して全市町で増加し、全体で3.8%増加しています。

今後の課題としては、実践的な体制づくりと活動への展開、来訪者ニーズに対応した支援体制の確立、広域連携による地域を挙げた観光振興への取り組みなどがあげられます。

(3) 豊岡市の観光動向

平成 17 年 4 月に誕生した「豊岡市」には、合併前の 6 つのまちが、それぞれの地域特性を活かして独自のまちづくりを進めてきており、しっかりと輝く真珠の粒がいくつもあります。この個々に輝いている真珠の粒を交通網・情報網、そして何よりも「一つのまちになった」という“心”でつなぎ、美しいネックレスに仕上げることで、さらに光り輝く魅力的なまちにすることが必要ですが、現段階では地域を結ぶネットワークが未成熟なため、豊富なポテンシャルを十分に活かしてきれていない状況です。

平成 17 年度の観光客入込み数は約 530 万人で、コウノトリ自然放鳥の反響もあって、台風 23 号により大きなダメージを受けた前年度に比べ増加しているものの、JR 福知山線の脱線事故や愛知万博への一極集中などが影響し、平成 15 年度の水準までは回復できていない状況です。また、観光客の多くが日帰り客となっていることから、地域経済への波及効果もそれほど大きくない状況です。

観光地としての豊岡市の知名度は低く、「城崎温泉」や「城下町出石」などの地域名称の方がネームバリューを有しています。また、全国的に注目を集めている「コウノトリ」との共生を目指した取組みも、現状では観光地としての知名度アップにはつながっていないという現実も浮かび上がってきています。

これらの背景を踏まえ、「コウノトリツーリズム」の検討や「子どもの野生復帰大作戦」の企画開催などの取組みもはじまっており、「豊岡市」を観光拠点都市として全国的なレベルに向上させるため、“コウノトリ翔るわが国唯一のまち”という特性を最大限活かし、コウノトリも住める環境づくりをコンセプトに、環境と経済が共鳴する地域の実現を目指した創意工夫による飛躍的な展開が求められています。

(4) 豊岡市の観光入り込み客数の動向

豊岡市の観光入り込み客数は、日帰り客、宿泊客、宿泊率ともに近年減少傾向にあります。

四季別では夏が一番多く、他の季節は同程度で、推移は秋が横ばい、他の季節は減少傾向です。

利用交通機関別では、自家用車、貸切バス、ＪＲ・バスの順で、自家用車以外は減少傾向です。

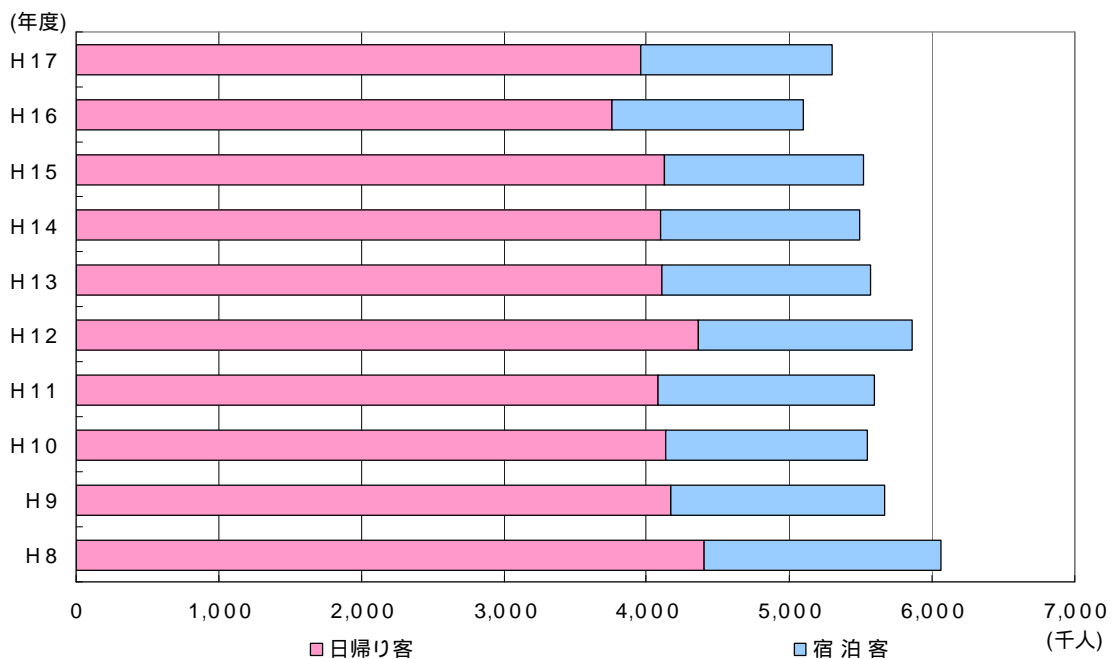
図表 年度別観光客入込数の推移

(単位 : 千人)

	H 8	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17
総入込み客	6,067	5,667	5,553	5,590	5,862	5,566	5,492	5,520	5,097	5,301
日帰り客	4,400	4,174	4,130	4,083	4,364	4,110	4,101	4,126	3,759	3,960
宿泊客	1,667	1,493	1,423	1,507	1,498	1,456	1,391	1,394	1,338	1,341
宿泊率	27.5%	26.3%	25.6%	27.0%	25.6%	26.2%	25.3%	25.3%	26.3%	25.3%

兵庫県観光動態調査結果より

図表 年度別観光客入込数の推移



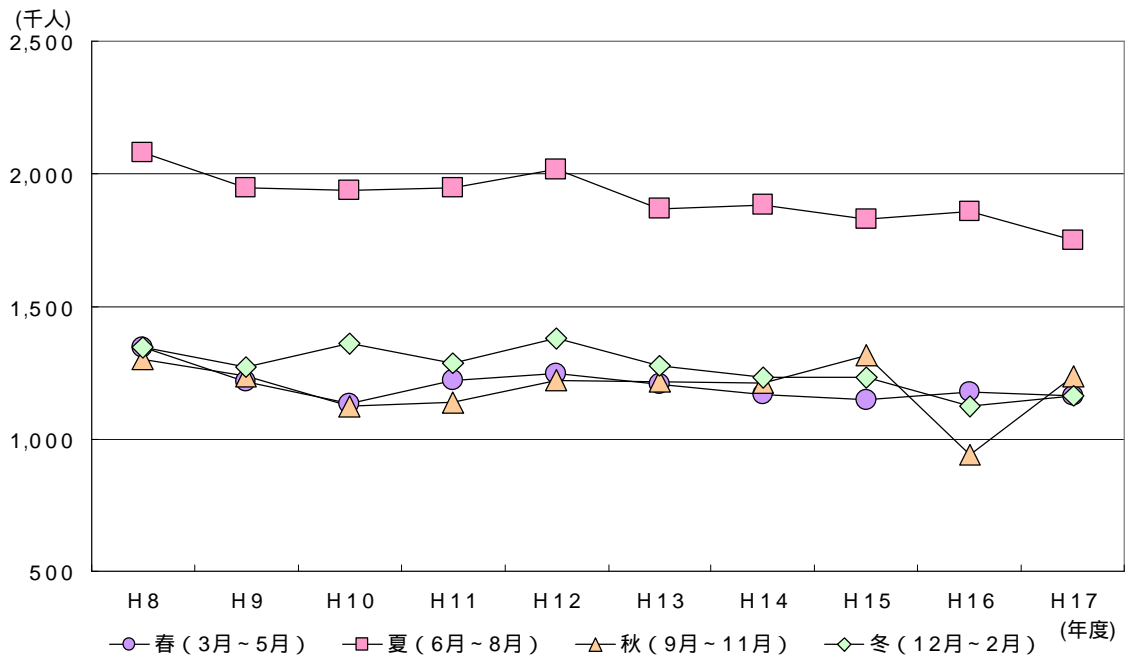
図表 四季別観光客入込数の推移

(単位：千人)

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
春(3月～5月)	1,343	1,214	1,130	1,221	1,246	1,204	1,166	1,146	1,177	1,160
夏(6月～8月)	2,079	1,949	1,939	1,946	2,015	1,868	1,883	1,828	1,860	1,747
秋(9月～11月)	1,299	1,236	1,123	1,136	1,220	1,218	1,213	1,314	940	1,234
冬(12月～2月)	1,346	1,268	1,361	1,287	1,381	1,276	1,230	1,232	1,120	1,160
計	6,067	5,667	5,553	5,590	5,862	5,566	5,492	5,520	5,097	5,301

兵庫県観光動態調査結果より

図表 四季別観光客入込数の推移



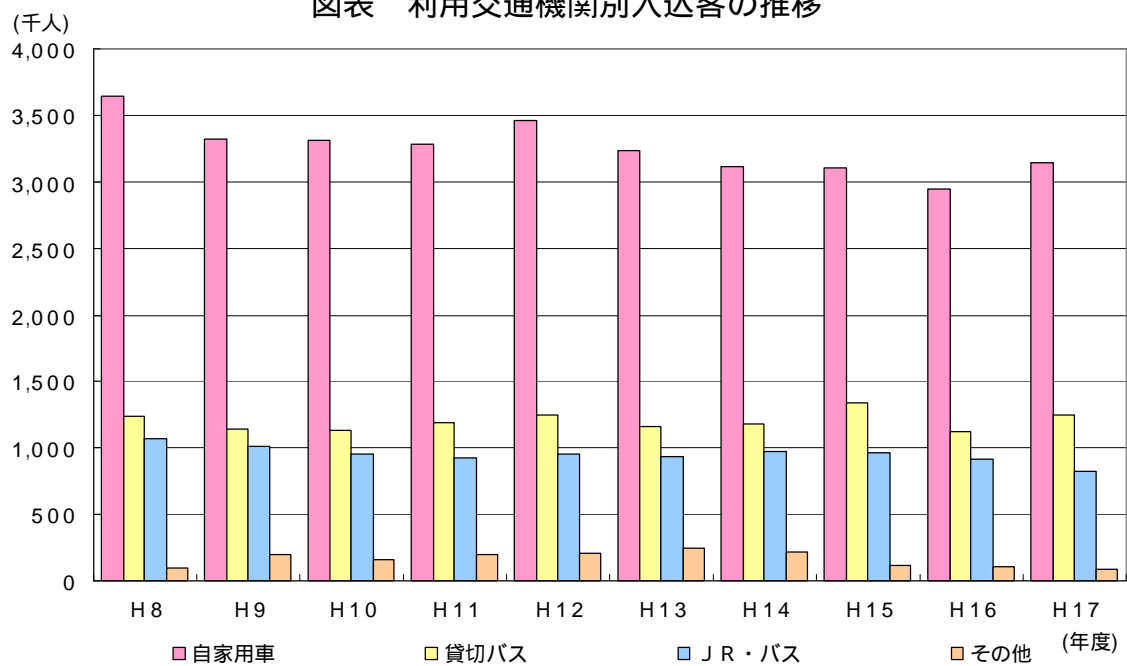
図表 利用交通機関別入込客の推移

(単位：千人)

	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
自家用車	3,650	3,317	3,310	3,286	3,459	3,233	3,117	3,101	2,952	3,145
貸切バス	1,243	1,144	1,132	1,185	1,251	1,162	1,184	1,335	1,116	1,245
J R ・ バス	1,072	1,008	950	923	949	930	975	967	916	823
その他	102	198	161	196	203	241	216	117	113	88
計	6,067	5,667	5,553	5,590	5,862	5,566	5,492	5,520	5,097	5,301

兵庫県観光動態調査結果より

図表 利用交通機関別入込客の推移



2. 関連計画等の整理

(1) 豊岡市総合計画（平成19年3月）での位置づけ

豊岡市総合計画（平成19年3月）での位置づけを次に整理します。

将来像は、

「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」

と設定しています。

テーマとしては、

安全と安心を築く

地域経済を元気にする

人と文化を育てる

の3点を掲げています。

進め方としては、

豊岡モデルの展開：まちの資源を活かし有機的につながる

参画と協働

特色ある地域の成長と連携

の3点を掲げ、 において、環境教育と癒し空間が位置づけられています。

(2) 但馬観光アクションプログラム

ビジョン

「但馬トライ(TRY)アングル ふるさとツーリズム」

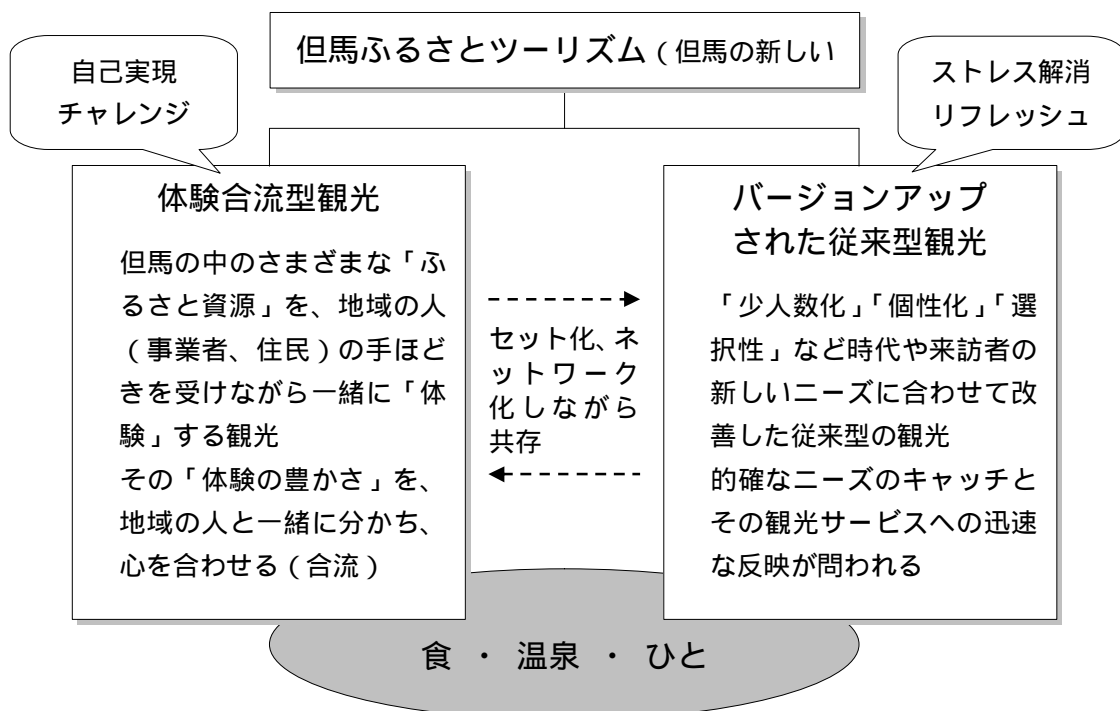
住民・事業者・来訪者の三者で

関西の「ふるさとツーリズム」のメッカをつくろう！！

主要活動のフレーム

但馬の「新しい観光」は、「ふるさとツーリズム」である。その「ふるさとツーリズム」における、主要活動イメージとしては、但馬におけるさまざまな活動分野の「体験」ができる「体験合流型観光」があり、一方で、少人数化や個性化などのニーズに応える形で、バージョンアップされた「従来型観光」がある。そして人間の本源的欲求である「食」と「温泉」、「ひと」がその両方に関わるイメージである、としています。

図表 主要活動のフレーム



旧市町の位置づけ等

図表 旧市町の位置づけ等

旧市町名	但馬全域から見た位置づけ（役割）
豊岡市	人を多様な観光に誘い、舞い巡らせる但馬の集客拠点 「コウノトリの郷でビオトープづくり体験」
城崎町	「にぎわい」と「いやし」のある、但馬の温泉宿泊拠点 「温泉情緒で和風お遊び体験」
竹野町	山～川～海を巡る、但馬のふるさと循環拠点 「山～川～海の物語体験」
日高町	くつろぎとやすらぎあふれる、但馬の高原拠点 「植村直己のふるさと冒険体験」
出石町	みんなが集い交流する、但馬の城下町拠点 「城下町で一日きもの体験 - 出石をきもので歩きませんか - 」
但東町	人を素朴にもてなす、但馬のホンモノ交流拠点 「シルクのまちでモンゴル体験」

．教育旅行等に関する現状分析

1．教育旅行の動向

教育旅行についての動向について整理します。

(1) 一般的な動向

最近の修学旅行は体験学習を取り入れるのが主流で、各地の特徴を生かした体験学習メニューの充実が求められています。

高校では、大半の自治体が航空機の利用を認めています。小中学校における航空機利用はまだ少数ですが、近年、東京や横浜の中学校が航空機の利用解禁に踏み切り、九州各県が航空会社と組んで誘致強化に取り組むなど、航空機利用の解禁で競争に拍車がかかります。

誘致実現化のポイント

- ・生活文化に根付いた本物の教育プログラムの提供
- ・心の通った本物のふれあい
- ・学校、ニーズをとらえながら、プログラムの充実
- ・受け入れる人の資質も高めていくように、磨き続けている地域
- ・地域が自立していて、自分達でやるという意識付けができている
- ・目指すところは、誘致する過程での人づくりで、地域の生活文化の伝統、産業などを再認識して地域を知ること
- ・それができたときに来てもらい続ける状態ができて、地域が活性化していく

今後のトレンド

じっくりとツアーリズムを楽しみ、グリーンツーリズムやブルーツーリズム等の異文化体験、就労体験等に緊張しつつ、感動を受ける滞在型の教育旅行が求められていくと考えられます。

マーケティング調査

名 称	「(財)日本修学旅行協会」大阪府支部
項 目	内 容
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動向としては「物見遊山」から「体験・交流」になっています。 ・ 一般的に、農村体験型メニューが多い状況です。 ・ 共通のテーマで、修学旅行以外の一般客も参加可能なメニュー化が大切です。 ・ 先生と生徒、両面のニーズ把握が大切です。 ・ 受け入れ側がそれぞれの特色を持つことが大切です。 <p style="text-align: center;">例 素朴さ、健康づくり、都会にはないものの体験、日本伝統のしつけ・マナー、農作業を手伝わせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体メニューを一度につくらずに、各パーツ、パーツで実績を積み、それらを踏まえて全体を検討した方が望ましい。
タイムスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の企画は2年先を見越して商品化している状況。 <p>1年目：事例調査等で案作成</p> <p>2年目：先生招聘</p> <p>3年目：本番</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 投げかけから地元の受け入れ先の協議などを考えると、行先などの決定については長期（3～4年）のスパンを考えることが大切です。

<p>旅行者、教育者へのアプローチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エリアを絞り、設置別では開校特徴のある私立をねらうことが大切です。 ・金額面などのこともあるが、私立は「開学の教え（ポリシー）」がしっかりしているため、学校の思いが強く反映される。公立は金銭的な部分で私立よりも安価なものを求める傾向があります。 ・実施季節は5～6月が多く、旅行単価は1万5000円～2万円です。 ・それらの窓口については担当部署（観光課）が担わなければならないし、京阪神の旅行代理店をはじめ、市内の旅行代理店にも声をかけるなどの対応が必要です。 ・他地域（遠方）の誘致に先立って近隣の学校の自然学校的なものの誘致を実験的に行い成功した事例があります。 ・地域内に観光協会が多くあるならそれらの競争を促すことも行政として必要ではないか。資源の再発見、新たな発掘も含め協会組織を活性化させることで全体の底上げが図れます。 ・金がない分、知恵をつけ、そして使うことをしないといけない。これまでの考え方ではいけない部分が多くでてきています。 ・予算のこともあるだろうが、実験をしながら併走して計画を立てることも大切です。 ・まずはこちらに来ていただくための資源、情報提供を行う「着地型」の発想が大切です。また、着地側と発地側のセット化も必要です。
-----------------------	---

その他の動向	<ul style="list-style-type: none">・誘致範囲、宿泊施設の規模の整理が必要です。・中学生は沖縄へ、高校生は海外への傾向があります。・行政ではなく、地元住民がいかに歓待するかが重要です。・地域内の学校の先生（現場担当）に直接本音を聞かせてもらうような場を設定し、思いを聞くことも必要ではないか。その上で、地域内の人材を活かすことが大事です。
--------	--

(2) 先進地事例の整理

ここでは、先進地の事例を整理します。

名 称	株南信州観光公社
項 目	内 容
体験型観光の定義	<ul style="list-style-type: none"> ・感動・発見・学び等の副産物が生まれること（従来型の観光資源が無く、人と人との交流や体験活動を通して生まれる） ・受け入れ側の思いと理念が一致し、前進
経緯：プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・趣旨：通過型から滞在型拠点型化 ・誘致活動の看板は行政が担った。地域にとって他県の子どもを受け入れる不安に対して、行政が入ることで安心感が芽生えた。後に観光公社ができて民間的なものに移行したことから、行政との強い絆が重要 ・1995年：体験教育旅行誘致事業の開始（飯田市商業観光課） ・1996年：受け入れ ・窓口組織の必要性：利用団体数の増加 受け入れ先の拡大（1時間圏内） 事業の継続的・専門性の保持 ・2001年：株南信州観光公社の設立 趣旨：南信州広域の地域振興をめざす組織 出資：飯田市等の1市4村、10企業・団体 ・2004年：飯田下伊那全16市町村（合併後15）に拡大

人員構成	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤4人：社長（地元バス会社OB）取締役支配人、職員、バイト ・非常勤5人：県職員、飯田市職員2人、農協・町村会職員、研修生
経営	<ul style="list-style-type: none"> ・独立採算：設立以来、自治体からの補助金無し、少しの手数料を多数からが基本 ・2004年：単年度収支拮抗 ・2006年：単年度黒字
行政の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・人的支援
ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・あの普通の農家に泊まりたい（7割農家民泊、1軒4人単位） ・自慢し合う、一緒につくって食べることにより交流 ・年間約5万人、 ・8割教育旅行（小、主に中・高校生、年間100校以上）、2割一般団体で近年増加傾向 ・時季：8割5・6月、残りは9・10月
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼方法：1軒1軒直接訪問、間接依頼もある、1回2～3万円のお礼支払い、元々やっている人のネットワークで依頼により拡大 ・農家民泊13市町27地区400軒 ・インストラクター：地元の名人500～600人 ・オーダーメイド、信頼関係が重要 ・学友林を植栽し、成長段階視察としてのリピート客もねらう ・今後も、生産、生活の現場を体験できる環境を整備

名 称	水俣市（熊本県）
項 目	内 容
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の環境首都コンテスト」第1位：公害の街から環境の街へ ・地域再生への模索 ・行政：「環境」軸に進めるコミュニティ再生 ・市民：苦難の過程を世界に伝える取り組み（負の遺産を資産に、視察・修学旅行誘致、体験を語り継ぐ） ・企業：環境技術に活路 <p>水俣教育旅行プランニング</p> <p>地域の暮らしを知る</p> <p>「環境の郷」をテーマに、地域にある素材（人、暮らし、風景、歴史、文化など）を活用した地域づくりを進めています。</p> <p>遊ぶ・自然と向き合う</p> <p>身体ごと自然と向き合うことができるスポーツを通して、学びとレクレーション楽しみながら達成感に満ちた一日を過ごして頂きます。</p> <p>環境について考える</p> <p>水俣病を経験した水俣市では、こうした市民、行政、企業が連携した取り組みを学び、「環境」をキーワードとした地域づくりを知ることができます。</p> <p>水俣病を学ぶ</p>

名 称	京都市
項 目	内 容
経緯	・ 2007年3月：専用ホームページ「きょうと修学旅行ナビ」の開設。
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統文化の体験や文化財発掘、住職による悩み相談などのユニークなメニューを加えた約340施設の紹介 ・ 少人数での班別行動が増え、生徒が行き先を決めることが多い状況に対応し、修学旅行生をターゲットにしたHPで、生徒自らが体験プランを立てられるように工夫されています。 ・ 「京都修学旅行日記」、生徒の様子を保護者に知らせる掲示板が開設されています。

名 称	奈良県
項 目	内 容
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2006年9月：「奈良県修学旅行誘致促進委員会」(県、奈良市、各旅館組合、各寺社など29団体) ・ ホームページ「なら修学旅行ガイド」を開設しました。 ・ 歴史文化、世界遺産、特産品などの紹介や奈良の歴史クイズ、モデルコースなどがあり、事前学習にも活用できます。

名 称	和歌山県
項 目	内 容
名称	「ほんまもん体験」
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2002年開始 ・ プログラム数：97 308に増加（2005年度） ・ 参加者：20万人超（2005年度） ・ 体験観光を活用した修学旅行：12校（前年度より4校増加） ・ 内7校が首都圏、県担当課が近畿圏よりも誘致の可能性が高いと判断し、都内で学校関係者を招いて体験観光を活用した修学旅行を考えるシンポジウムを開催。

名 称	串本町
項 目	内 容
組 織	・ 串本町教育旅行誘致協議会（和歌山県）
動 向	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年、首都圏や近畿圏で、修学旅行や研修旅行に田舎での自然体験を取り入れる学校が増えてきており、農家や漁師の家に泊まって生活体験する要望が高まっています。 ・ 県や串本町は、2003年から、体験型観光プログラム「ほんまもん体験」を活用して、修学旅行誘致を進めています。 ・ 2007年民泊事業を開始

名 称	みなべ町
項 目	内 容
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2006年4月：教育旅行誘致専門委員会設置 ・ 6月：大阪府公立中学校来訪（梅の収穫等の体験） ・ 8月：教育旅行シンポジウム開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 主催：県・県観光連盟 ・ 場所：東京都 ・ テーマ：「体験観光と環境教育・食育・伝統文化教育シンポジウム」 ・ 参加、対象：首都圏の学校関係者・旅行会社関係者 ・ 講演：知事 ・ 報告：和歌山県を修学旅行で体験した学校 ・ 委員長談（町内ホテル支配人）：誘致圏は首都圏・東海地方 ・ 配布：教育旅行に適した体験メニューをまとめたパンフレット ・ 12月：ホームページ内に町内の教育旅行メニューや施設を紹介するページの作成

内容	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット「みなべ町教育旅行ガイド」 体験しながら学ぶ、自然・歴史・文化（みなべ観光協会：問い合わせ先「みなべ町教育旅行誘致委員会」） ・内容：海浜体験、森林体験、日本一の梅体験、熊野古道歴史散策、スポーツ合宿
----	--

名 称	長浜市
項 目	内 容
テーマ	・観光をメインにする地元経済の活性、新たな滞在型教育旅行のコラボレーション
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立中学校3年生250人、5月、1日半 ・市街の各商店街92店舗の協力のもと ・丁稚体験：滞在型就労体験（清掃、販売、商品製作等） ・楽市楽座で栄えた長浜の歴史文化 ・地域通貨的なクーポン券の発行で地域内消費

(3) 豊岡市実績等の整理

近年の豊岡市の実績等を整理します。

三重県の中学校

目的：身近な自然との共生

2006年5月、119名、時間：2時間30分

ヒアリング項目

- ・野生コウノトリの消滅の具体的原因
- ・保護増殖の取り組みの主体は、行政か市民団体が
- ・保護増殖の技術は市にあったのか
- ・自然環境づくりの努力、地域の反応について
- ・長期にわたる経済・技術・行政的支援について
- ・何羽程度まで飼育、増殖の持続予定か

神戸市の中学校

経緯

- ・グリーンツーリズム事業の一環
- ・農家民泊による農業体験学習の受け入れ実施
- ・民泊：農家民宿及び一般農家
- ・農業体験学習：農家民宿及び各地区の農家の協力により「滞在・体験・交流」

の受け入れ体制の整備

2007年5月、71名、2泊3日

内容

- ・県立コウノトリの郷公園見学

- ・農作業体験（田植え、草刈り、果樹の摘果など）
- ・農村体験（そば打ち、おはぎづくり、竹細工、薪取り、風呂炊きなど）

課題

- ・旅館業法、衛生管理

2 . 既存観光資源の整理

教育旅行担当者をはじめ個人や小グループでアクセスしやすい環境づくりをめざし、以下の視点でインターネットを活用し既存資源を整理します。

(1) インターネットの特性

メディアとしての特性は以下の6点です。

マルチメディア

文字・動画・静止画・音声・グラフィックスなど、多様な表現媒体を統合的に用いる情報媒体の一つです。

速報性

発信により即座に交信できます。

インタラクティブ

双方向の通信が可能です。

世界発信

全世界に発信、交信できます。

情報の一元化が可能

電子ファイル化により、情報の一元化が可能です。

小コスト

通信システムが小コストで立ち上げ、通信費用等も小コストですみます。

観光振興から見たメリットは、「小規模」・「遠隔地」のクローズアップ（本質的な地域の変化を促進する）です。

(2) 最近の動向と今後の方向性

個人旅行者自身が情報の発信者であり、また、新しい付加価値を付ける「コンサルティング機能」(無数の情報の中から確実な情報を取捨選択して提供する) が重要です。

(3) 基本的な考え方

基本的な考え方を整理します。

地域の実力アップ：情報内容の充実度や鮮度が重要

魅力ある地域と感じさせる

旅立たせる

リピートさせる

求められる情報内容

印象に残る

リアクセスしたくなる

かゆいところに手が届く

(4) 豊岡観光情報の構成要素の整理

豊岡観光情報の構成要素を整理します。

図表 HPでの手法の整理

視点	キーワード	HPでの手法	売りの資源
空間	ポイント アクセス方法	マップ表示	地形がコンパクトで変化に富む 海・山・川 結節点：鉄道駅（分岐駅）・空港・港湾
時間	時季、季節	ニュース提供 ・イベント紹介 ・見頃・食べ頃・行き 頃	厳しい気象条件：多湿 年較差が大きい、霧の発生 豊かな季節感
人間	お勧め こだわり	会話 ガイド	市民ガイド

．システム構築の過程及び具体化方策

ここでは、システム構築のための過程（プロセス）として豊岡市教育旅行実現の過程と、具体化方策として豊岡市教育旅行システムについて段階的にな提案します。

1．豊岡市教育旅行実現の過程

教育旅行の全国的な動向や先進地事例を踏まえ、豊岡市の取り組みの実績や蓄積、他分野にわたる個性的な地域の資源を生かし、豊岡市教育旅行実現の過程を以下に示します。

過程の骨格としては、段階は、3段階とし、まず、【第 段階】ホップ（準備期）、次に、【第 段階】ステップ（育成期）、最後に【第 段階】ジャンプ（充実期）とします。期間としては、各段階ともに1～2年程度で、目標期間全体を~~では~~3～5年とし、【第 段階】ジャンプ（充実期）で完成させ、その後はその継続・充実を図っていきます。

各段階の基本的視点は、前提条件として【特徴・目標と到達段階】と【位置づけ】を設定し、具体的に実施する主体として【行政】と【住民・民間団体等】を設け、その具体的な取り組み内容を【アクション】として示します。

(1)【第 段階】ホップ(準備期)

豊岡市教育旅行実現の過程の第1段階についての基本的視点ごとの内容について、以下に記述します。

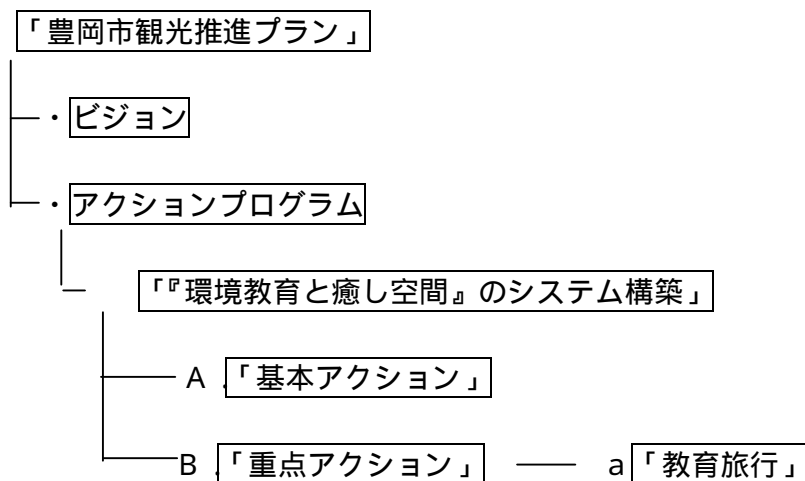
【特徴・目標と到達段階】

特徴・目標と到達段階は、庁内組織の一体化、推進体制づくり、マーケティング調査の3点とします。基本的視点との関係は、庁内組織の一体化は行政、推進体制づくりは住民・民間団体等、マーケティング調査はアクションに位置づけられます。

【位置づけ】

位置づけの内容は、「豊岡市観光推進プラン」を策定します。次に、プランを実現していくための具体的なアクションプログラムを設定し、その中で「基本アクション」と重点的に進める「重点アクション」の2種類を設定します。具体的には「『環境教育と癒し空間』のシステム構築」のアクションプログラムにおける「重点アクション」として「教育旅行」を位置づけます。

表 位置づけの体系イメージ



【行政】

庁内組織の一体化

本事業推進の効率化と評価システム構築のためには、窓口となる責任担当課を明確化する必要があるため、豊岡市役所内の主幹課を商工観光部「観光課」に位置づけます。

予算・事業の一本化

本事業の効果的な推進と明確な評価システムの構築を目的として、庁内組織の一体化と同様、本システムに関連する予算及び事業を一本化します。

行政以外の年間イベントの整理

関連する事業の把握と集約化等の検討について、行政との調整のために、合併前の6地域（豊岡、城崎、竹野、日高、出石、但東）さらに各地域を構成する小地域の年間イベント等の観光関連事業の整理を進めます。

その項目は、実施主体、目的、対象者、内容、進め方、費用、実施時期、実施場所等とし、様式（シート）を決めて各イベント毎に記入し整理します。

【住民・民間団体等】

主幹推進組織の決定

主幹推進組織は、平成の合併前の支所単位である市内の6観光協会（豊岡、城崎温泉、たけの、日高町、但馬國出石、但東シルクロードの各観光協会）で組織する「但馬豊岡観光協議会」とします。

「豊岡市観光推進プラン・アクションプログラム」の策定

「豊岡市」を観光拠点都市として全国的なレベルに向上させるため、“コウノトリ悠然と舞う ふるさと”という特性を最大限に生かし、コウノトリも住める環境づくりをコンセプトに、環境と経済が共鳴する地域の実現を目指します。

その上で、住民・民間団体の創意工夫による飛躍的で柔軟な展開を図るため、加除訂正を進めながら差し替え式をイメージした「豊岡市観光推進プラン」に分野毎の推進プログラムを設定し、定期的に進行管理することが必要です。

推進体制づくり

市内の各観光協会の連携を強化し、地域性や独自性を保ちながら、それぞれの地域に密着したこれまでの活動を継続強化していく事と併せて、豊岡市全体を視野に入れた広域的な観光振興事業を目に見える形で積極的に推進し、誘客にも直接的につながる「官民協働」の先行的事業として実施する新たな組織の設置を進めます。

観光関連団体と行政懇談会の開催

教育旅行の具体化に向けて、観光関連団体と行政懇談会を開催し、以下の項目を検討・調整します。

実施主体：だれがWho

民間団体と住民、行政の役割分担を明確化するとともに、段階計画に

応じた実施主体を具体化していきます。

目的：なぜWhy

取り組む目的を、実施主体はもとより一般市民、来訪者にも説明可能にするため、合意形成を図ります。

対象者：だれにWhom

対象とする地域（京阪神圏やその他の都市圏、具体的に既存連携のある地域等）、年齢層（小学生、中学生、高校生、大学生＝研究フィールド等の提供、一般客）、設置別（国公立、私立等）を設定します。

内容：なにをWhat

活用及び提供できる資源の抽出、その具体的な活動メニュー、地元の説明者や人員配置等について検討します。

進め方：どのようにHow

具体的にどのように市内で連携を進めて、市外に何を通して情報発信を行っていくのかを検討します。その中で、“まず何からするか”について合意形成を図ります。

費用：いくらでHow much（収益性）

システム開発からモデル試行、情報発信、実行、謝礼・報酬、アフターケア等に関する費用の検討とその予算確保について調整します。

実施時期：いつWhen

短期、中期、長期の各視点から、実施時期とそのための準備期間（一般に3年程度）等を調整します。

実施場所：どこでWhere

受け入れ実績や意欲等を考慮し、モデル的に試行する場合から充実化までをにらんだ具体的な実施場所を調整します。

【アクション】

検討組織の立ち上げ

行政や住民・民間団体と調整を図りながら具体的に推進していく組織を立ち上げます。

市内の実績地区の調査研究

市内で教育旅行実施の実績がある地区（但東町赤花、日高町神鍋エリア等）の調査研究を行い、前提となる条件や準備・調整の必要な項目等の整理を行います。

エージェント招聘

来訪対象となる地域のエージェントを招聘し、資源紹介とプログラム、受け入れ体制等について、販売のための現地視察と実施に向けての問題点と課題、要望等について意見交換する場を設けます。

マーケティング調査

→1951（昭和 27）年に設立され、文部科学省・国土交通省所管の公益法人である「（財）日本修学旅行協会」の大阪府支部へのヒアリング調査を行います（平成 18 年度一部実施）。

事例研究

主に近畿圏における合併自治体を中心に先進地事例の研究を行います。（平成 18 年度一部実施）。

（株）南信州観光公社

水俣市（熊本県）

京都市

奈良県

和歌山県

串本町（和歌山県、平成 17 年(2005 年) 4 月 1 日、串本町と古座町との合併町）

みなべ町（平成 16 年(2004 年)10 月 1 日、南部町と南部川村との合併町）

長浜市（平成 18 年(2006 年) 2 月 13 日、旧長浜市、東浅井郡浅井町、東浅井郡びわ町の 1 市 2 町の合併市）

【備 考】

P D C A サイクルでの評価

- ・第 1 段階の【特徴・目標と到達段階】を中心的に P D C A サイクルで評価します。
- ・ P D C A サイクルとは、サイクルが次の四段階からなることから、その頭文字をつなげたものです。

P l a n （計画）：従来の実績や将来の予測などをもとにして業務計画を作成する。

D o （実施・実行）：計画に沿って業務を行う。

C h e c k （点検・評価）：業務の実施が計画に沿っているかどうかを確認する。

A c t （処置・改善）：実施が計画に沿っていない部分を調べて処置をする。

(2)【第 段階】ステップ(育成期)

豊岡市教育旅行実現の過程の第2段階についての基本的視点ごとの内容について、以下に記述します。

【特徴・目標と到達段階】

特徴・目標と到達段階は、観光協会の連携強化、先進事例調査の実施、大学と連携した観光ビジョンの策定の3点とします。基本的視点との関係は、観光協会の連携強化は住民・民間団体等、先進事例調査の実施及び大学と連携した観光ビジョンの策定は、アクションに位置づけられます。

【位置づけ】

位置づけの内容は、行政と民間団体との統一化を進め、『環境教育と癒し空間』のシステム構築』についての「重点アクション」としての「教育旅行」の予算化を行います。

【行政】

庁内組織の立ち上げ

観光課、商工課、農林水産課、コウノトリ共生課及び、教育委員会を中心に、庁内の横断的組織として「(仮称)コウノトリツーリズム庁内推進会議」を設置します。

表 (仮称)コウノトリツーリズム庁内推進会議の関係課と役割

関係課	役割	備考
観光課	市の既存基幹産業である観光業の振興を含めた地域振興等	主幹課
商工課	中心市街地の活性化等をはじめ、商業や靴産業を含む工業等の既存産業の振興、特産品加工や土産物生産・販売等を基本とした体験プログラム及び産業団体、人材との連携等	
農林水産課	農業をはじめ林業、水産業等の第一次産業を基本とした体験プログラム及び産業団体、人材との連携等	宿泊空間の提供（農家、漁家師）
コウノトリ共生課	コウノトリの棲みやすい総合的な環境づくり、国内をはじめ海外を含めたネットワークの形成と活用、既存の組織や施設との連携の強化等	
教育委員会	人材発掘や育成、生涯学習、体験学習を基本とした体験プログラム及び産業団体、人材との連携等	教育機関との連携

【住民・民間団体等】

観光協会

各観光協会の事務局長の交流をはじめ、事務局の共同化など、各地域の個性と魅力を生かし、さらに合併新自治体としての一体化も含めた連携強化を進めます。

その他組織整理

その他の組織として、農業協同組合、漁業協同組合、商工会議所・商工会、

商店街組合、交通事業者、宿泊施設、食事施設等の産業団体や観光関連事業者、
(株)出石まちづくり公社等のまちづくり関連の事業者、 N P O、ボランティア等の関連団体によびかけ、組織の役割分担や整理、連携の強化等についての調整会議を開催します。

【アクション】

庁内組織化

主幹課としての観光課と教育旅行の企画側、また、郷土史家、元教員等受け入れ側との意見交換会を通じて連携と交流を強化し、地元の人材や情報を整理します。

事業者へのセミナー、研修の実施

教育旅行についての全国的な動向、先進地事例の取り組み内容をはじめ、主に受け入れ側からみた対応策等について、受け入れ事業者をはじめとした関連事業者へのセミナー、研修を実施します。

地元地区・地域：研究会立ち上げ

赤花地区をはじめとした農家民泊の実績のある但東地域やスキー民宿の実績がある日高町神鍋エリア等で実績調査を行い、受け入れのための準備、注意事項、救急医療、防災対策等のチェックリスト等を整理し、受け入れ先の拡大等も含めた地元地区・地域での研究会の立ち上げを行います。

先進事例調査の実施

主に第1段階で調査研究した先進事例調査の中から、参考となる事例を抽出し、より現場の情報や感覚を事業者等が体験するため、現地ヒアリングや視察調査を実施します。

大学と連携した観光ビジョン策定

豊岡市を研究フィールドとして提供することも含め、県内や日本海側の近隣

府県をはじめとした大学や研究機関と連携交流を強化し、教育旅行体験プログラム（実施編）を策定します。

【備 考】

P D C A サイクルでの評価

- ・第2段階の【特徴・目標と到達段階】を中心的にP D C A サイクルで評価します。

(3)【第 段階】ジャンプ(充実期)

豊岡市教育旅行実現の過程の第3段階についての基本的視点ごとの内容について、以下に記述します。

【特徴・目標と到達段階】

第1段階と第2段階の成果を生かし、特徴・目標と到達段階は 具体的に実施、大学と連携した観光ビジョンの策定の2点とします。基本的視点との関係は、具体的に実施、大学と連携した観光ビジョンの策定ともにアクションに位置づけられます。

【位置づけ】

第1段階と第2段階の事前調査や意向把握、実績等から判断し、豊岡市内で一番取り組みやすい地区から実施します。

【行 政】

庁内組織の拡大・充実・強化

第2段階で立ち上げた庁内組織の拡大・充実・強化を進めます。

【住民・民間団体等】

シンポジウム等の企画開催

日本観光研究学会関西支部との連携による地域懇話会の誘致などにより、基調講演・パネルディスカッションやシンポジウム等の企画開催を進めます。

関係組織：郷土史家、元教員、自治会、農家、大学、コンサルタント

郷土史家、元教員、自治会、農家、大学、コンサルタント等による関係組織を立ち上げ、実施を支援します。

ターゲット：都市部の学校

ターゲットの拡大として、「T2」や「但馬情報特急」等の活用を含め、都市部の学校、都市部の豊岡出身者、郷土史家及び元教員等への情報発信を強化します。

【アクション】

コンテンツ（内容）の整理

「生き物調査プログラム」等のコンテンツ（内容）の整理を進めます。

実施：取り組みやすい地区から実施

以下の視点に基づき、取り組みやすい地区から実施します。

豊岡中心地の隣接地等：但東地域、神鍋エリア、竹野地域

まち、歴史文化、産業、景観的等のテーマが明確で把握しやすい地区：

城崎、出石

テーマと対象地区の整理

大学と連携した観光ビジョン策定

大学や研究機関と連携し、教育旅行体験プログラム(飛躍編)を策定します。

【備考】

P D C A サイクルでの評価

第1段階と第2段階、さらに総合的な【特徴・目標と到達段階】を中心的にP D C A サイクルで評価します。

豊岡市の教育旅行アクション実現のステップアップのプロセス (最重点項目 重点項目)



2. 豊岡市教育旅行システム

豊岡市教育旅行システムの構築について、第 段階、第 段階、第 段階の 3 つの段階で、具体的な行動等を提案します。システムの構築を構成する主体としては、「来訪者側」、「支援組織」、「主体組織・連携組織」、「現地・地元・着地側」の 4 つの立場に分けて構築します。

「来訪者側」

まず、「来訪者側」としては、「(財)日本修学旅行協会」、「市場ターゲット」、「大手エージェント」の 3 者で構成します。「(財)日本修学旅行協会」は、文部科学省・国土交通省所管の公益法人で、修学旅行を中心とした学校における旅行・集団宿泊的事業を広く教育旅行として捉え、教育旅行が安全・低廉かつ適正に実施されるよう広く情報発信等を行っている財団法人です。本部は東京で、名古屋と大阪に支部があり、大阪支部は西日本エリアを対象としています。

ここで定義する「教育旅行」とは、学校行事として位置付けられている旅行・集団宿泊的行事とし、修学旅行、遠足、移動教室、集団宿泊、野外活動などを含め、広い意味で捉えています。

「市場ターゲット」は、京阪神圏・名古屋圏・中四国圏・首都圏等の主に大都市圏とし、小・中学校、高等学校、大学など教育機関別にメニューを設定することも必要です。また、私立校は開学理念が比較的明確であり、環境等を重視した人づくり精神を重視している学校を対象とすることも有効と考えられます。「大手エージェント」に対しては、豊岡市内に立地している支店等との連携の可能性も考慮し展開します。

「支援組織」

「支援組織」は、「行政」、「但馬ふるさとづくり協会」、「北但馬グリーンツーリ

ズム協会」、「コンサルタント」で、「来訪者側」と「主体組織・連携組織」、「現地・地元・着地側」との連携を支援する役割を果たします。その内「行政」は、兵庫県とその地域事務所である「但馬県民局」と地元自治体である「豊岡市」で構成します。なお、「豊岡市」は、「市長部局」と「教育委員会部局」で構成され、両者の連携が重要となります。

「主体組織・連携組織」

「主体組織・連携組織」は、「但馬豊岡観光協議会」、「各観光協会」、「豊岡教育旅行推進協議会」（「コウノトリツーリズム庁内推進会議」を含む教育旅行の企画等の組織の創設）の3者で構成します。その内、「但馬豊岡観光協議会」は地域地元全体の窓口となり、統括する組織です。また、「各観光協会」各プログラムの実践を担います。さらに、「豊岡教育旅行推進協議会」は、プラン作成、試行、販売準備、企画等を行い、「現地・地元・着地側」の各組織との連携を担います。

「現地・地元・着地側」

「現地・地元・着地側」は、「農家」、「地元住民」、「支援機関」、「地域経済団体組織」、「宿泊施設・関係業者」、「関係組織」、「観光物産関係事業者」、「フィールド」、「学習施設」、「関連メニュー開催主体」で、「その他」として、「交通機関関係」、「共同発展創造メニュー」で構成します。

「農家」は、農家民宿としての宿泊機能、や農事体験の機会提供や指導の役割などを担います。

「地元住民」は、体験学習プログラムを応援します。

「支援機関」は、体験学習プログラム等の達人や名人を含めたガイド役の役割を担い、自治会をはじめシルバー人材、各団体等のOB、人材バンク等で構成する団体的な組織です。

「地域経済団体組織」は、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、商工会等の経済団体で構成され、観光協会との連携を図りつつ、地域産業振興にも寄与する役割を担います。

「宿泊施設・関係業者」は、温泉旅館・ホテル、公共宿泊施設・外湯等で構成し、滞在機能を担います。

「関係組織」は、環境教育等に関連するコウノトリ・トレッキング・同好会等で、テーマにそった多様な支援を担います。

「観光物産関係事業者」は、特産品や土産物の製造・流通・販売を担います。

「フィールド」は、屋外の空間等で主に農場、「学習施設」は、屋内の施設で、工場・公民館・地場産業振興センター等、「関連メニュー開催主体」はイベント、行事・催しの企画と開催の役割を担います。

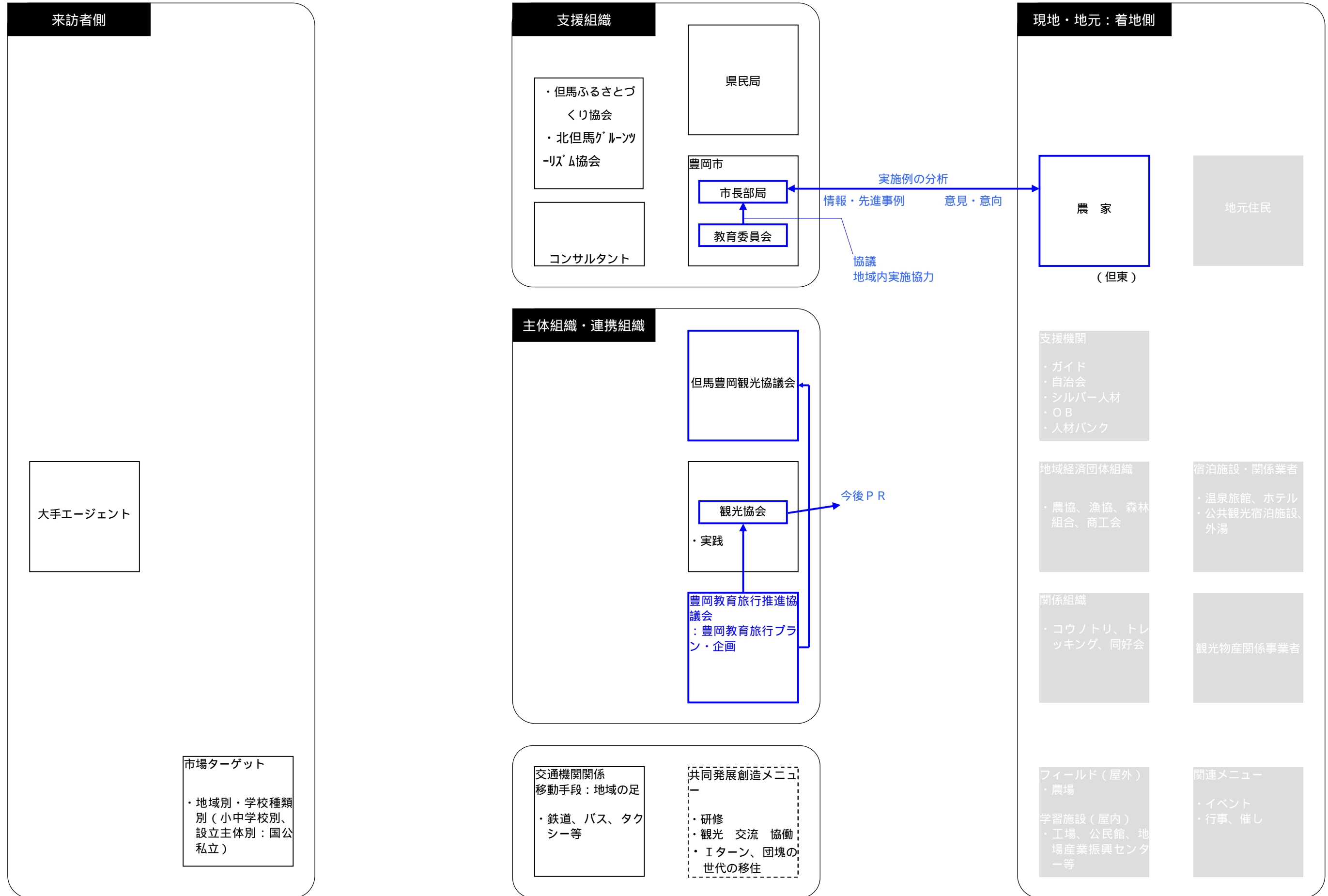
「交通機関関係」は、移動手段として、鉄道・バス・タクシー等、「共同発展創造メニュー」は、研修、観光から交流、さらに協働へ、Iターン・団塊の世代の移住等の役割を担います。

第 段階

「教育委員会部局」は、「市長部局」と協議し、地域内での受入の協力を依頼し、具体化に向けて調整を進めます。

「市長部局」は、既に具体的な実績がある但東地域や神鍋エリアの「農家」にヒアリングし、今後の取り組みに対する意見・意向を把握します。

「各観光協会」は、各地域の特性や資源の状況、受け入れ体制の熟度等を把握し、各地域での今後の実践に向けたきめの細かいPRの準備を進めます。



第 段階

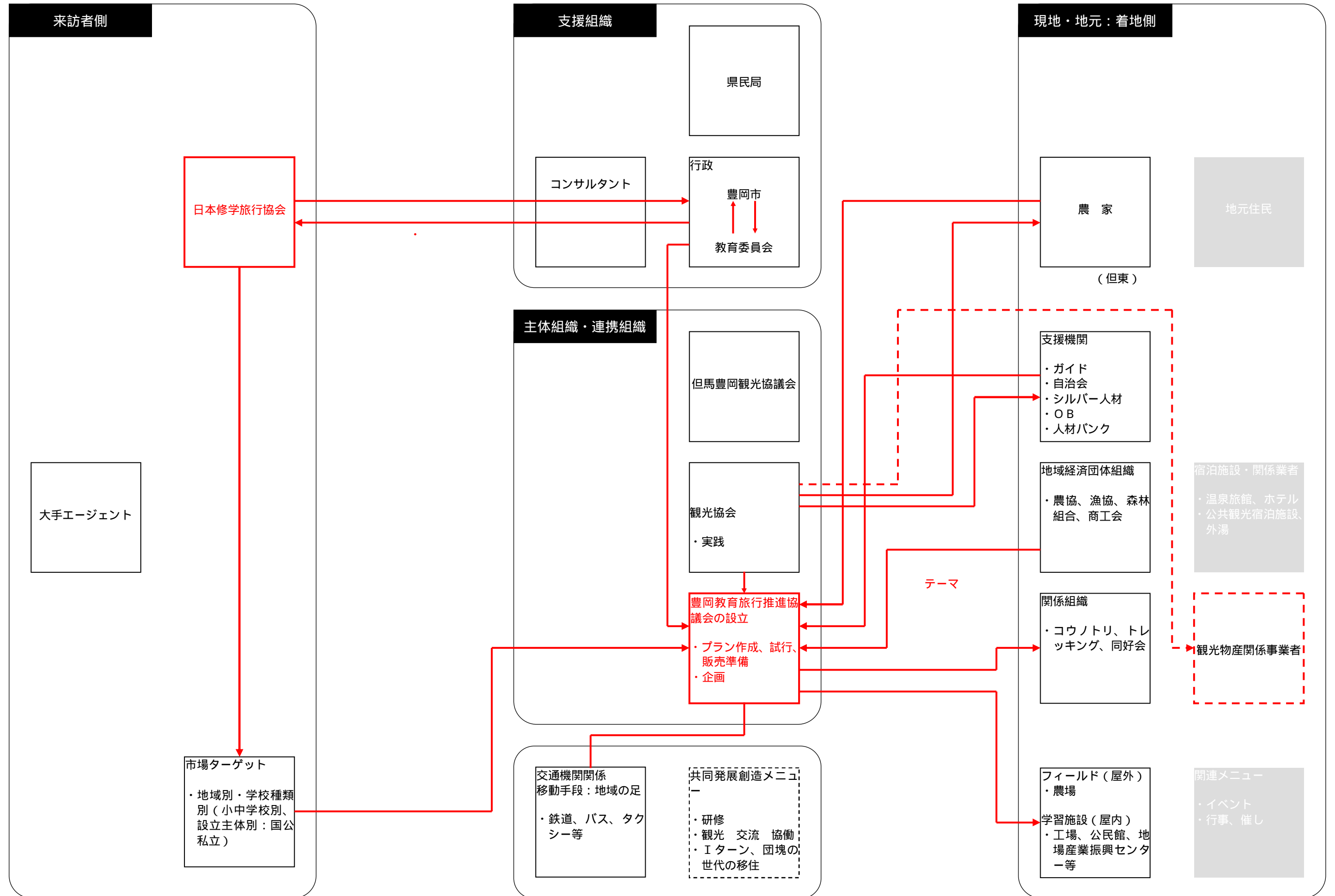
主たる支援組織である「豊岡市」は、以下の各項目について観光課等の市長部局と教育委員会部局との調整を行います。

- 1) 「(財)日本修学旅行協会」から基本的な条件や全国的な動向等の情報を入手します。
- 2) 「(財)日本修学旅行協会」に対して豊岡市内における教育旅行に関する情報を提供します。
- 3) 「(財)日本修学旅行協会」の意向を確認しながら豊岡市における教育旅行に関する具体的なプログラムを提供します。同時に「(財)日本修学旅行協会」に対して、「市場ターゲット」である学校側とのコンタクト及び情報提供を依頼します。
- 4) 「豊岡教育旅行推進協議会」の設立を支援します。
- 5) 「交通機関関係」(移動手段：地域の足、鉄道・バス・タクシー等)との調整を進め、試験運行の企画・実行を支援します。

「各観光協会」は、各地域で実績のある「農家」及び「支援機関」(ガイド・自治会・シルバー人材・OB・人材バンク等)を抽出し、社会実験の協力依頼と企画・実行を進めます。

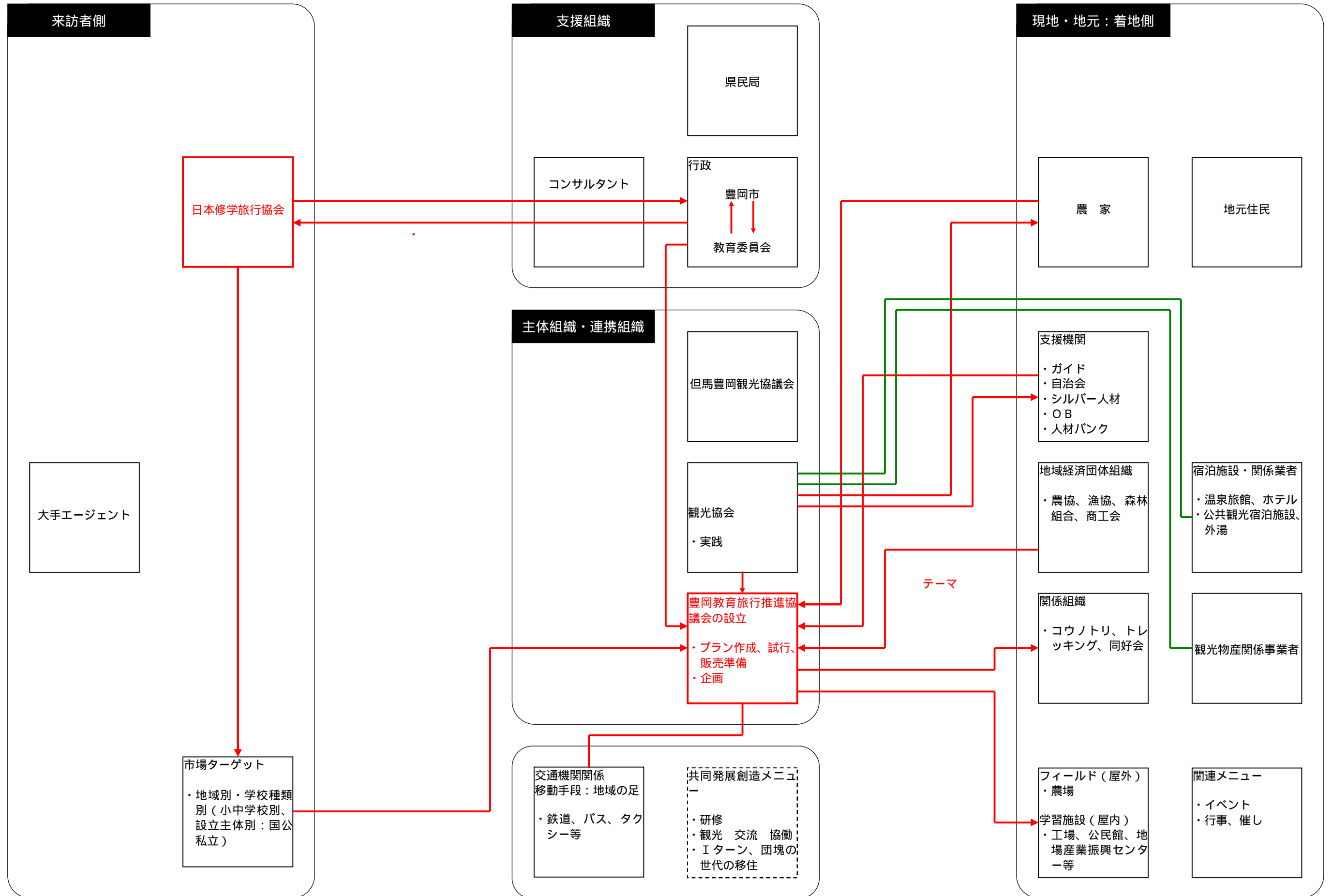
「豊岡教育旅行推進協議会」は、「市場ターゲット」となる学校側との予約を取り付け、具体的な受け入れの打診、企画・実行を進めます。

「地域経済団体組織」(農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、商工会等)は、「豊岡教育旅行推進協議会」(プラン作成・試行・販売準備、企画)に参画するとともに、「豊岡教育旅行推進協議会」は、「関係組織」(コウノトリ・トレッキング・同好会等)と「フィールド(屋外)」(農場)・「学習施設(屋内)」(工場・公民館・地場産業振興センター等)の管理者等へ、協力の打診、企画・実行、具体的な参画による企画・実行を進めます。



第 段階

「各観光協会」は、各地域で実績のある「宿泊施設・関係業者」(温泉旅館・ホテル、公共観光宿泊施設・外湯等)、「観光物産関係事業者」を抽出し、協力の打診、企画・実行、具体的な参画による企画・実行を進めます。



参 考 资 料

1 . 体 験

2 . 海 水 浴 場

3 . キ ャ ン プ 場

4 . ス キ ー 場

5 . 温 泉

6 . 花

7 . ミ ュ ー ジ ア ム

8 . 景 勝 地

9 . 滝 、 溪 谷

10 . 名 所 ・ 史 跡

11 . 社 寺

12 . 交 通

13 . そ の 他

豊岡市観光資源一覧表

1. 体験

名称	営業時間(期間)	定休	料金	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)	備考
酒蔵見学	10:00 - 16:30	年末年始	無料	豊岡市千代田町6-33	但馬酒造(株)	22-3248		要予約
おかき工場見学	通年 10:00 - 18:00	年末年始	無料	豊岡市神美台1-1	榎播磨屋 豊の岡工商店	26-0001		要予約
おかき工場見学	平日8:00 - 18:00 土・日・祝9:30 - 18:00	1月1日	無料	豊岡市若松町5-43	榎げんぶ堂	23-5555		ビデオにて製造工程見学
コウノトリ観察、生き物調査、ピクトブづくり	通年	月曜日(祝日の場合は翌日)、12/28 - 1/4	無料	豊岡市祥雲寺127	コウノトリ文化館	23-7750		生き物調査、ピクトブづくりは要予約
円山川下り	通年 10:00 - 15:00(1時間ごとに通航) 時間外は貸切通航		大人1020円 小人510円	豊岡市小島	日和山観光	28-2113		要予約
カナディアンカヌー、カヤック体験	3/25 - 11/20 9:00 - 17:00		カヌー:大人600円、小人300円 カヤック:大人450円、小人220円	豊岡市小島1163	県立円山川公園	28-3085		
陶芸	9:00 - 17:00	月曜日	ゆのみ小1000円 -	豊岡市土洲241-4	やきもの工房豊土焼	24-5401		要予約
アイガモオーナー交流田(田植体験、収穫体験、交流会)	(申込)3 - 5月下旬(田植)5月下旬(アイガモ・稲成長観察)6 - 7月(稲刈)9月(交流会)10 - 12月		年間利用料13000円	豊岡市三江地区	豊岡アイガモ稲作研究会(JAたじま)	24-3641		オーナー特典:アイガモ米10kg、アイガモ燻製
地曳網体験	4月 - 8月下旬		1回約50000円	豊岡市気比2637	戸林稔夫(とばやし としお)	28-2820		要予約 H17年度からの海底の環境変化により、遠沖での体験は不可
陶芸	実施時期 通年		3150円 送料別途	豊岡市城崎町薬々浦442	但馬焼陶芸	32-4079		要予約
浴衣で散策	実施時期 6月 - 10月		1泊2日(帯・下駄付)2000円	豊岡市城崎町湯島100-3	かほる美容室	32-4180		
スノーケル体験	6 - 10月中旬頃 午前・午後(1日2回)	荒天時	小人(小4 - 6年)1500円、大人(中学生以上)2,500円	豊岡市竹野町切浜	竹野ブルーミュージアム(スノーケルセンター・ビクターセンター内)	47-1932		要予約
そば打ち	通年	水曜日	2 - 4人:1人前1500円 5人以上:1人前1200円	豊岡市竹野町椒1247	そばの館 椒	48-0939		要予約
農家民宿 御宿やませみ	通年		宿泊料金(1泊2食)7,500円 - 9,000円 (11月末 - 3月末は暖房費500円プラス)	兵庫県城崎郡竹野町三原5-83	御宿やませみ	48-0714		吹き抜けと灯りを大切に木のぬくもりが、かんじられる宿です。一組だけの受け入れで別荘感覚で自由にのんびり使っていただけます。
もちつき	通年	水曜日	1升 4,600円	豊岡市竹野町椒1247	そばの館 椒	48-0939		要予約
いちご狩り(山本農園)	実施期間 4月下旬 - 6月末 18年度以降の実施は未定	月曜日	小学生以上1,000円 小学生未満700円	豊岡市日高町土居57-5	ファームやまもと	42-3573		要予約 H17年に試験的にオープン、H18年に実施するかは未定
ガラス工房(ガラス工房 遊)	実施時期 通年	7,8月、年末年始	ペーパーウェイト:1人3000円、90分:7500円 ペーパーウェイトとくいのみ:1人5000円	豊岡市日高町藤垣165	ガラス工房 遊	44-0564		要予約
天体観測	通年(悪天候でない限り) 20:00 - 22:00		大人1500円 宿泊者は無料	豊岡市日高町山田147-1	アルビレオ天文台プチホテル	45-1066		要予約
パラグライダー体験	4 - 11月		体験コース:半日5000円、1日8000円 他コース有	豊岡市日高町名色189	クロスフィールドパラグライダーズスクール	45-1390		要予約
パラグライダー体験	通年		体験コース:1日8000円 タンデムフライト:4000円 -	豊岡市日高町名色73	アークパラグライダーズスクール	44-0088		要予約
パラグライダー体験	4 - 11月		体験コース:半日5000円、1日8000円 他コース有	豊岡市日高町太田159-10	UP JAPAN OUTDOOR SPORTS SCHOOL	45-0598		要予約
パラグライダー体験	4 - 11月		1日体験:8000円 タンデム2人乗り:3000円 他コース有	豊岡市日高町太田17	スノーハントパラグライダーズスクール	45-1119		要予約
虹鱈川釣り体験	通年		大人3500円、中学生2000円、小人1000円(午後は小人以外、500円引き)	豊岡市日高町十戸	十戸観光協会	44-0059		
プチゴルフ体験	4/29 - 11月末(土・日・祝日のみ営業)	平日	大人1000円、小人500円	豊岡市日高町栗栖野59-78	栗栖野観光倶	45-1545		
バターゴルフ	4/29 - 11/3(土・日・祝日のみ営業)9:00 - 17:00	平日	1ラウンド1000円	豊岡市日高町太田11	神鍋観光倶	45-0055		
ブラスノスキー、ブラスノボード	4/29 - 11/3(土・日・祝日のみ営業)9:00 - 17:00	平日	(レンタルセット)1日2,500円、半日2,000円 (リフト券)1回300円、1日4,000円、半日2,500円ほか	豊岡市日高町太田11	神鍋観光倶	45-0055		
グラススキー	4/29 - 11/3(土・日・祝日のみ営業)9:00 - 17:00	平日	(レンタルセット)1時間1,000円、1日2,500円、半日2,000円 (リフト券)1回300円、1日4,000円、半日2,500円ほか	豊岡市日高町太田11	神鍋観光倶	45-0055		
マウンテンボード	4/29 - 11/3(土・日・祝日のみ営業)9:00 - 17:00	平日	1時間2000円、2時間3000円 (レンタル+滑走料)ほか	豊岡市日高町太田11	神鍋観光倶	45-0055		
レーシングカート体験	4 - 11月末 平日10:00 - 18:00、土日祝9:00 - 18:00	12 - 3月	大人1800円/5分 小人1500円/10分 タンデム2000円/5分 ミニバイク1000円/10分 レース体験パック5000円(練習5分+タイム計測5分+10周レース) 団体貸切1時間 平日40000円 -、土日祝70000円 -	豊岡市日高町 アップ神鍋中央駐車場	ペンション ウェストミニハウス	45-0058		レース体験・貸切は要予約
陶芸	実施時期 通年		1時間600円 粘土1kg250円	豊岡市日高町日置江原駅東	たじま工房	42-4271		要予約
かなべ東河内市民農園	4月 - 翌年3月		1区画(50㎡)10000円	豊岡市日高町東河内かなべが山1-11神鍋山麓	かなべ東河内市民農園管理組合	42-1111		
りんごもぎ取り(神鍋亭りんご園)	実施時期 8/25 - 11月末日		入園料:大人600円 小人500円 食べ放題 お持ち帰り:7個1600円 8個1800円 かがいっぱい2000円(1kg/700円) 入園料込み	豊岡市日高町太田5	神鍋亭	45-0124		要予約
りんごもぎ取り(橋本屋りんご園)	実施時期 8/25 - 11月中旬		入園料:大人・小人共500円 お土産用:かご1000 - 2000円 カゴなしの持帰り:300 - 500円	豊岡市日高町太田1172	橋本屋	45-0626		要予約
出石焼絵付け(永澤兄弟製陶所)	実施時期 通年		1200円	豊岡市出石町内町92-1	永澤兄弟製陶所	52-2155		要予約

3. キャンプ場

名称	オープン期間	設備等	料金	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)	備考
気比の浜キャンプ場	7/10～8/下旬	浜茶屋、温水シャワー、トイレ、炊事棟	1人1日1000円、バーベキューのみ2000円	豊岡市気比	気比の浜観光開発協会(シーズンオフは港観光協会)	28-2101 (28-3244)		
奈佐森林公園	4/1～11/30 11月は土日祝のみ	多目的広場、炊事棟、トイレ、シャワー、炊事セットなど	常設テントサイト2200円、持込テントサイト1100円、炊事セット1000円	豊岡市目坂499	奈佐森林公園管理事務所(シーズンオフは豊岡市農林水産課)	24-7411 (23-1111)		市施設
来日岳林間キャンプ場【閉鎖中】	4/1～11/30		一般210円 中学生以下105円	豊岡市城崎町来日字高峯地内	城崎総合支所	32-2711		市施設
弁天浜キャンプ場	4、5、6、7、8、9、10月	炊事棟、シャワー、トイレ、貸ポート	テントを張ったキャンプの場合大人1000円、小人500円	豊岡市竹野町竹野	たけの観光協会	47-1080		
たけのこ村	5月～10月 5月は土・日以外は休 7,8月を除く水曜日は定休	コテージ、研修棟、トイレ、シャワー、炊事セットなど	市外一般 常設テント4000円、持ち込みテント1000円、コテージ15000円 など	豊岡市竹野町東大谷334	たけのこ村(シーズンオフは竹野支所教育委員会分室)	47-0250 (47-1111)		市施設(教育委員会)
神鍋高原キャンプ場	4/1～11/30	トイレ、炊事棟など、「かななべ湯の森ゆとりぎ」まで徒歩5分	テント1張1泊 2040円、デイキャンプ1人1日 110円など	豊岡市日高町栗栖野59番地の2	神鍋高原キャンプ場	42-3111		市施設
湯の原温泉オートキャンプ場	4/1～11/30(コテージは12/20まで)	コテージ、炊事棟、トイレ、フリールーム、区画サイト、遊具広場、温泉施設など	区画サイト1泊4,000円、デイキャンプ1泊1,500円、コテージ1棟1泊15,000円、美化協力費(キャンプサイト区画、コテージ1棟につき)200円 など	豊岡市日高町羽尻1510番地	湯の原温泉オートキャンプ場組合	44-0001		市施設
アカシヤキャンプ場	4/1～11/30	炊事棟、トイレなど、「かななべ湯の森ゆとりぎ」まで徒歩5分	テント1張1泊 2000円、デイキャンプ1人1日 150円	豊岡市日高町栗栖野	さかや(和多田 昇)	45-0238		
白糸の滝キャンプ場	冬期以外	-	無料		但馬國出石観光協会	52-4806		
兵庫県子ども自然村	通年	ログハウスなど	県子ども会連合会が使用する施設	豊岡市但東町平田	(社)兵庫県子ども会連合会	078-221-4081		

4. スキー場

名称	オープン期間	料金	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
神鍋高原「アップかななべ」カヌーセンター	11/下～3/上 8:30～21:30(土日祝は8:00～) (11/上～2/下は5:00～)	大人リフト1日券 4,300円 半日券3,000円 キッズパーク・スノーボード練習場500円	豊岡市日高町太田	神鍋観光協会	45-0800	
神鍋高原「各色」カヌーセンター	12/下～3/中 8:30～17:00	大人リフト1日券 4,300円 半日券3,000円	豊岡市日高町各色	神鍋観光協会	45-0800	
神鍋高原「万場」カヌーセンター	12/下～3/中 8:30～16:45	大人リフト1日券 4,300円 半日券3,000円	豊岡市日高町万場	神鍋観光協会	45-0800	
神鍋高原「奥神鍋」カヌーセンター	12/上～3/中 8:30～21:30	大人リフト1日券 4,300円 半日券3,000円	豊岡市日高町山田	神鍋観光協会	45-0800	
神鍋高原「大同山」カヌーセンター(今シーズンは休業)	8:30～17:00	キッズパーク・スノーボード練習場500円	豊岡市日高町大同	神鍋観光協会	45-0800	

5. 温泉

名称	営業時間(期間)	定休	料金	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)	備考
さとの湯	AM7:00～PM11:00	第2、4水曜日(祝日の場合は営業)	大人800円 小人400円	豊岡市城崎町今津290-36	さとの湯	32-0111		
鴻の湯	AM7:00～PM11:00	第1、3火曜日(祝日の場合は営業)	大人600円 小人300円	豊岡市城崎町湯島610	鴻の湯	32-2195		
御所の湯	AM7:00～PM11:00	毎月第1、3木曜日(祝祭日の場合は営業)	大人800円 小人400円	豊岡市城崎町湯島448-1	御所の湯	32-2230		
一の湯	AM7:00～PM11:00	第2、4火曜日(祝祭日の場合は営業)	大人600円 小人300円	豊岡市城崎町湯島415-1	一の湯	32-2229		
地藏湯	AM7:00～PM11:00	第1、3水曜日(祝祭日の場合は営業)	大人600円 小人300円	豊岡市城崎町湯島796	地藏湯	32-2228		
まんだら湯	PM3:00～PM11:00	毎週月曜(祝祭日の場合は営業)	大人600円 小人300円	豊岡市城崎町湯島565	まんだら湯	32-2194		
柳湯	PM3:00～PM11:00	毎週金曜(祝祭日の場合は営業)	大人600円 小人300円	豊岡市城崎町湯島647	柳湯	32-2097		
竹野温泉「遊湯館」(北前館)	AM9:00～PM9:00	無休	大人400円 小人250円	豊岡市竹野町竹野50番地の12	北前館	47-2020		市施設
かななべ湯の森「ゆとりぎ」	4～10月 AM10:00～PM9:00 11～3月AM10:00～PM8:00 入館受付は営業終了30分前まで	水曜日(祝日の場合は翌日) 林の風呂(裸浴)は無休	全施設 大人1300円 小人800円 幼児500円 林の風呂 大人500円 小人300円	豊岡市日高町栗栖野60-1	かななべ湯の森ゆとりぎ	45-1515		市施設
湯の原温泉オートキャンプ場「湯の原館」	AM11:00～PM8:00 受付終了PM7:30(7.8月はPM8:30)	12/21～翌年3/31	大人500円 小人300円	豊岡市日高町羽尻1510	湯の原温泉オートキャンプ場組合	44-0001		市施設
出石温泉館「乙女の湯」	AM10:00～PM10:00	毎月第2水曜日(祝日の場合は翌日)	大人400円(中学生以上)、小人200円(3歳以上小学生以下)	豊岡市出石町福住	出石温泉館乙女の湯	52-2778		市施設
但東シルク温泉館	AM6:00～PM11:00 (受付はPM10:00まで) 毎月第3水曜日は点検の為、PM5:00～PM11:00(祝日の場合は翌日)	無休	大人500円 中学生以下300円 5歳未満は無料	豊岡市但東町正法寺	但東シルク温泉館	54-0880		市施設

6.花

名称	開花時期	場所	住所	問い合わせ先 (現地)	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
ツバキ	3/中～4/中	玄武洞公園	豊岡市赤石1362	玄武洞ミュージアム 23-3821	豊岡観光協会	22-8111	
散りツバキ	3/中～4/下	長楽寺	豊岡市日高町上石661	長楽寺 42-0439	日高町観光協会	45-0800	
菜の花	3/下～4/上	円山川沿い	豊岡市		豊岡観光協会	22-8111	
桜	4/上～4/中	神武山公園	豊岡市京町		豊岡観光協会 豊岡市観光課	22-8111 23-1111	
	4/上～4/中	大鷲川(おたにかわ)沿い	豊岡市城崎町湯島		城崎温泉観光協会	32-3663	
	4/上～4/中	清滝小学校	豊岡市日高町山宮1357-1	清滝小学校 45-0040	日高町観光協会	45-0800	
	4/上～4/中	榎木坂	豊岡市日高町橋本		日高町観光協会	45-0800	
	4/上～4/中	国府桜づつみ公園	豊岡市日高町府市場～西芝		日高町観光協会	45-0800	
	4/上～5/上	出石城跡	豊岡市出石町内町		但馬國出石観光協会	52-4806	
桜(おまきざくら)	4/中～4/下		豊岡市竹野町下村		たけの観光協会	47-1080	
桜(しほりざくら)	4/中～4/下		豊岡市竹野町三原		たけの観光協会	47-1080	
シャクナゲ	4/中～5/上	金剛寺	豊岡市金剛寺489	金剛寺(木下秀峰) 23-3866	豊岡観光協会	22-8111	
はなもも	4/中～4/下		豊岡市竹野町三原		たけの観光協会	47-1080	
ミツバツツジ	4/中～4/下	大師山	豊岡市但東町赤花		但東シルクロード観光協会	54-0500	
チューリップ	4/中	但東町畑山	豊岡市但東町畑山		豊岡市但東総合支所地域整備課	54-1000	
ボタン	4/下～5/上	隆国寺	豊岡市日高町荒川22	隆国寺 44-0005	日高町観光協会	45-0800	
ツツジ	4/下～5/中	倉楽園	豊岡市倉見		豊岡観光協会	22-8111	
てっせん・クレマチス	5/中～6/上	本覚寺	豊岡市出石町魚屋19	本覚寺 52-2891	但馬國出石観光協会	52-4806	
あじさい	6～7月	玄武洞公園	豊岡市赤石1362	玄武洞ミュージアム 23-3821	豊岡観光協会	22-8111	
	6/中～7/上	あじさい/但東町奥赤	豊岡市但東町奥花		但東シルクロード観光協会	54-0500	
	6/下～7/上	円通寺	豊岡市竹野町須谷940	円通寺 47-1030	たけの観光協会	47-1080	
ゆり	6/中～6/下	長養寺	豊岡市竹野町奥須井		たけの観光協会	47-1080	
ラベンダー	6/中～7月上旬	片間ふれあい農園	豊岡市出石町片間336		豊岡市役所出石総合支所地域整備課	52-3111	
夏ツバキ	6/下～7/上	安国寺	豊岡市但東町相田327	安国寺 54-0435	但東シルクロード観光協会	54-0500	
ひまわり	8/上～8/中	ひまわり	豊岡市但東町畑山		豊岡市但東総合支所地域整備課	54-1000	
そばの花	9/下～10/上	そばの花	豊岡市但東町		但東シルクロード観光協会	54-0500	
紅葉 ドウダンツツジ	11/上	安国寺	豊岡市但東町相田327	安国寺 54-0435	但東シルクロード観光協会	54-0500	
紅葉	11/中～11/下	阿瀬深谷	豊岡市日高町羽尻		日高町観光協会	45-0800	
	11/下～12/上	宗鏡寺	豊岡市出石町東條	宗鏡寺 52-2333	但馬國出石観光協会	52-4806	

7. ミュージアム

名称	営業時間(期間)	定休	料金	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)	備考
コウノトリ文化館「コウノビア」(兵庫県立コウノトリの郷公園)	9:00～17:00	月曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	無料	豊岡市祥雲寺127	豊岡市立コウノトリ文化館「コウノビア」	23-7750		市施設
兵庫県立円山川公園美術館	9:00～17:00	月曜日(祝日の場合は翌日)、12/30～1/1、展示替え休有り。	企画展観覧料/大人350円、小人(中学生以下)150円	豊岡市小島1163	兵庫県立円山川公園	28-3085		県施設
城崎マリワールド	9:00～17:00(7/20～8/31 9:00～18:00)	年中無休	大人2310円、小人1150円、幼児(3歳以上)570円	豊岡市瀬戸1090	城崎マリワールド	28-2300		
玄武洞ミュージアム	8:30～18:00(冬期は17:30まで)	年中無休	一般600円、小学生以下(5歳以上)300円	豊岡市赤石1362	玄武洞ミュージアム	23-3821		
出土文化財管理センター	9:00～17:00	土、日、祝日、12/28～1/4	無料	豊岡市神美台157番地の40	出土文化財センター	26-0033		市施設
城崎美術館	9:00～16:30	第2、第4木曜日(ただし、祝日の場合は開館)	一般100円	豊岡市城崎町湯島985-2	城崎美術館	32-2851		市施設
城崎文芸館	9:00～17:00(入館は16:30まで)	毎月最終水曜日(祝日の場合はその翌日)	大人400円、中学生300円(伝承館との共通券 大人500円、中学生350円)	豊岡市城崎町湯島357番地の1	城崎文芸館	32-2575		市施設
城崎妻むら細工伝承館	9:00～17:00(入館は16:30まで)	毎月最終水曜日(祝日の場合はその翌日)12/31～1/1	大人300円、中学生200円(城崎文芸館との共通券 大人500円、中学生350円)	豊岡市城崎町湯島376-1	城崎妻むら細工伝承館	32-0515		市施設
スノーケルセンター・ビジターセンター	9:00～16:45	12/30～1/3	無料	豊岡市竹野町切浜大浦1218	スノーケルセンター・ビジターセンター	47-1932		環境省、竹野スノーケルセンター運営協議会で管理運営
北前館・北前船資料室	9:00～17:00	年中無休	無料	豊岡市竹野町竹野50番地の12	北前館	47-2020		市施設
御用地蔵(住吉屋歴史資料館・仲田光成記念館)	住吉屋 8:30～22:00 仲田光成 9:00～17:00	水曜日、12/29～1/3	仲田光成記念館のみ入館料要 大人300円、小人150円	豊岡市竹野町竹野422番地	住吉屋歴史資料館	47-1555		市施設
植村直己冒険館	9:00～17:00(入館は16:30まで)	水曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	一般500円、高校生200円、小中学生150円 団体割引あり	豊岡市日高町伊野785番地	植村直己冒険館	44-1515		市施設
但馬国府・国分寺館	9:00～17:00(入館は16:30まで)	水曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	大人500円、高校生200円、小中学生150円	豊岡市日高町祢布808	但馬国府・国分寺館	42-6111		市施設
伊藤清永美術館	9:30～17:00(入館は16:30まで)	水曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	一般500円、学生300円	豊岡市出石町町内98番地	伊藤清永美術館	52-5456		市施設
出石史料館	9:30～17:00(入館は16:30まで)	火曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	大人200円、学生120円	豊岡市出石町青田78番地	出石史料館	52-6556		市施設
出石明治館	9:30～17:00	月曜日(祝日の場合は翌日)12/28～1/4	大人及び学生100円	豊岡市出石町湯島50番地	出石明治館	52-2353		市施設
出石家老屋敷	9:30～17:00	12/28～1/4	大人100円、学生80円	豊岡市出石町町内98番地の1	出石家老屋敷	52-3416		市施設
いずし古代学習館	9:00～17:00(入館は16:30まで)	木曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	無料	豊岡市出石町袴袋380番地の1	いずし古代学習館	52-7100		市施設
出石加藤弘之生家	10:00～15:00	日・祝日以外、12/28～1/4	無料	豊岡市出石町下谷10番地の1	但馬國出石観光協会	52-4806		市施設
出石武家長屋資料館	10:00～16:00	土・日曜・祝日以外、12/28～1/4	大人100円、学生80円	豊岡市出石町松枝159	但馬國出石観光協会	52-4806		市施設
日本・モンゴル民族博物館	9:30～17:00(入館は16:30まで)	水曜日(祝日の場合は翌日)、12/28～1/4	一般500円、高校・大学生300円、小中学生200円、65歳以上250円	豊岡市但東町中山711番地	日本・モンゴル民族博物館	56-1000		市施設
東井義雄記念館	10:00～16:00	月曜、12/28～1/4	無料	豊岡市但東町出合150	東井義雄記念館	54-1020		市施設

8. 景勝地

名称	概要	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
日和山海岸	日本海に注ぐ円山川河口の西岸にある日和山海岸からは、11月から12月初旬の早朝に見ることができ、絶景 日の出から2時間くらいが見頃、まれに突風に煽られ霧が吹き荒れる「けあらし」という珍しい光景もみられる。	豊岡市瀬戸	豊岡観光協会	22-8111	
来日岳	山頂からの展望が非常に良好で、速くに氷ノ山、眼下には山陰海岸国立公園が広がり、雲海が発生しやすい晩秋の早朝には霧の海が日本海へ流れ出る幻想的な風景が現れます。中腹に位置する紅葉平には一面に紅葉の木が繁っています。	豊岡市城崎町	城崎温泉観光協会	32-3663	
猫崎半島	夕日に浮かぶシルエットは、キュービッドが横になった姿そのもの、夏になると、水平線に輝く美しい日の出や夕日を見られるスポットがあります。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
はさかり岩	切浜の西にあるはさかり岩は、洞門の天井が落ち、岩と岩の間にはまったものといわれ、県の指定文化財にもなっている。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
淀の洞門	高さは18メートルあり、海水が入り込んだ洞窟の内部は、海賊伝説がよりいっそう神秘的な雰囲気を出している。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
賀崎公園	日本海に沈む美しい夕日が見えます。また、春には桜(ソメイヨシノ)が咲きます。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
ジャヤマ公園	白砂の美しい竹野浜や、猫崎半島を一望することができます。また、三三番石仏観音像を巡るコースでは、今も往時の竹野をしのばせてくれます。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
神鍋山火口	約2万年前に噴火したと推測される神鍋山、大きき口を開けたダイナミックな噴火口をはじめ、噴火の際のマグマやガスの抜け跡と言われている風穴も見どころです。	豊岡市日高町	神鍋観光協会	45-0800	
神鍋溶岩流	神鍋火山群から噴出した溶岩が、稲葉川に沿った谷を流れた跡を溶岩流と呼んでおり、光熱で流れ出した溶岩は、冷えて固まるまでになくんの滝をはじめ、溶岩瘤(県指定天然記念物)などの素晴らしい景色を生み出した。(県指定天然記念物)	豊岡市日高町稲葉川沿い 豊岡市日高町十戸 - 名色	神鍋観光協会	45-0800	

9. 滝、渓谷

名称	概要	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
小沼の滝	規模は小さいが、顔かけ、水こうり、夏の涼みに最適。	豊岡市滝	豊岡観光協会	22-8111	
段の白滝	冷たく澄んだ水が、大きな一枚岩の上を力強く流れていくさまは、しばし時間を忘れさせてくれます。この滝は水量が豊富で、年中枯れることはありません。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
阿瀬渓谷	渓谷に沿って、大小さまざまな四十八の滝があり、その中の1つの源太天滝は落差が約30mある。ひょうご森林浴場50選にも選ばれた素晴らしいハイキングコースでもある。	豊岡市日高町羽尻	神鍋観光協会	45-0800	
神鍋渓谷	板が谷平川に沿った、標高500m前後の北西面の斜面には、珍しい天然のアスナロ樹林が点在、付近にある2つの滝(一ツ滝、二ツ滝)も迫力満点。	豊岡市日高町	日高町観光協会	45-0800	
八反の滝	稲葉川にある滝で、断崖から垂直に落下する。滝壺も大きく深い。	豊岡市日高町	日高町観光協会	45-0800	
奥山渓谷	シーズンには、清流に泳ぐマス釣りを楽しむ家族連れの様が見られます。	豊岡市出石町	但馬國出石観光協会	52-4806	
白糸の滝	ひょうご森林浴五十選に指定されており、白糸を流したような美しい姿が訪れる人の心を魅了します。	豊岡市出石町	但馬國出石観光協会	52-4806	
清竜の滝	天より竜が舞い降りたと言われている高さ20mの滝、毎年7月第3日曜日にまつりが開催される。	豊岡市但東町西谷	但東シルクロード観光協会	54-0500	

10. 名所・史跡

名称	概要	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
大石り(遺髪塚・香林会館)	ポランティアによる説明が受けられる。(3月～12月の土日・祝日のみ)	豊岡市日撫17	香林開館/大石理玖子会	24-7625	
玄武洞公園	160万年前に起こった火山活動で山頂から流れ出した溶岩が冷え固まる時に、規則正しい割れ目を作り出したもので、全部で5つの洞からなる。玄武洞の他、青龍洞、白虎洞、北朱雀洞、南朱雀洞。	豊岡市赤石	豊岡観光協会	22-8111	
狗留尊仏	古くから「童」の神さまとして祭られてきた狗留尊仏の巨岩。このかけらを身につけた人が子宝に恵まれたことから現在では子宝祈願に訪れる人もふえている。	豊岡市竹野町	たけの観光協会	47-1080	
旧大同寺庭園	大岡山の山中、旧大同寺に残る池泉観音式庭園。国指定の名勝。	豊岡市日高町大同	日高町観光協会	45-0800	
辰鼓楼	明治4年、旧三の丸脇の大手門の櫓台に建設された鼓楼です。8時、13時に太鼓、17時に梵鐘が鳴らされます。	豊岡市出石町内町	但馬國出石観光協会	52-4806	
出石城跡	157段の石段を登り37の鳥居をくぐって稲荷神社から城下を見下ろせば城下町ならではの町並みが見下ろせます。昭和43年に隅櫓が復元され、その後登城門と登城橋が建設されました。	豊岡市出石町内町	但馬國出石観光協会	52-4806	
おりゅう灯籠	別称(船着場灯籠)。旧出石川の大橋東詰にあった船着場の名残です。	豊岡市出石町柳	但馬國出石観光協会	52-4806	

11. 社寺

名称	概要	拝観時間等	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
中嶋神社 【なかしま】	お菓子の神様「田道間守命」を奉る珍しい神社で二間社流造。正長元年(1428)室町中期の建物。毎年4月の菓子祭には全国から菓子業者が訪れる。		豊岡市三宅1	中嶋神社 豊岡観光協会	27-0013 22-8111	
久々比神社 【くくひ】	日本で唯一、コウノトリに縁のある神社。室町末期の建物と推定され、本殿は国の重要文化財に指定されている。コウノトリがデザインされたお守りと絵馬は、幸せを呼び、子授け・安産祈願などご利益があると評判で、近くの喫茶店「AVIAN TOT」で販売している。		豊岡市下宮	豊岡観光協会	22-8111	
瀧垂神社 【さかだる】	本殿は一間社流造で中嶋神社と同じ宮大工の大作久清の建造。本殿は国指定重要文化財。お酒の神様を奉っている。永享10年(1438)から宝徳元年(1449)までかかって再建された室町中期の建物。		豊岡市法花寺	豊岡観光協会	22-8111	
東楽寺 【とうらくじ】	弘法大師開祖の寺。東楽時には国指定文化財に指定された四天王立像が祀られている。四天王は仏を守るための4体の武神で、持国天、增長天、広目天、多聞天の全てが揃っている。また他にも、聖観音立像、絹本着色涅槃像が市指定文化財になっている。本尊の歡喜天は日本3大聖天の一つ。		豊岡市清冷寺1665	東楽寺 豊岡観光協会	23-0985 22-8111	
文常寺 【もんじょうじ】	国指定重要文化財である聖観音立像が祀られている。県指定重要文化財である2体目の聖観音立像は、文常寺の秘仏となっている。		豊岡市鎌田	豊岡観光協会	22-8111	
金剛寺 【こんごうじ】	足利尊氏が戦没者慰霊を願い、一寺一塔を全国に建立した際の奇蹟状が残っており、宝篋印塔(室町期のもの)で、供養塔・墓標)とともに、県の文化財に指定されている。シャクナゲ寺としても有名。		豊岡市金剛寺489	金剛寺 豊岡観光協会	23-3866 22-8111	
綱巻神社 【きぬまき】	但馬五社のひとつ(網巻神社、小田井神社、出石神社、養父神社、粟鹿神社) 天衣織女(あまのいおりめ)命・海部直名を祀り、全国でも珍しいお守りをあげた狛犬があります。周囲は暖地性原生林で、面積200平方m余りに、シラカス/キザカキ、ダブ、山桜、椿など温帯・亜熱帯の樹木が生茂り、県の天然記念物に指定されている。		豊岡市気比4006	豊岡観光協会	28-2468 22-8111	
小田井神社 【おだい】	延喜式神名帳(905)に記されている式内神社で、国作大己貴(くにのりおおなむさ)命を祀っている。貞享年間(1684-87)に社殿を再興し、鳥居を建て、元文年中(1736-40)に神殿を改築した。昭和になってから、円山川河川工事で移転や境内の改築が行われた。		豊岡市小田井15-6	小田井神社 豊岡観光協会	22-2029 22-8111	
温泉寺 【おんせんじ】	道智上人により創建された高野山真言宗の別格本山。天平九年に河辺へ漂着した十一面観音像(国重要文化財)を安置して開かれ、翌年に聖武天皇の勅願寺に温泉寺縁起帳など城崎温泉の歴史を伝える宝物が多く残っています。	拝観時間/9:00～16:30 第2、4木曜は拝観不可(祝日の場合は拝観可能) 拝観料/400円 城崎美術館と共通	豊岡市城崎町湯島985-2	温泉寺 城崎温泉観光協会	32-2669 32-3663	
極楽寺 【ごらくじ】	応永年間(1394-1427)に創建された大徳寺(京都市)の末寺で、出石出身の沢庵和尚により再興されました。温泉街から奥まった一角にあり、江戸中期に建てられた山門、石庭・清閑庭などを静寂の中で見学できます。		豊岡市城崎町湯島801	極楽寺 城崎温泉観光協会	32-2326 32-3663	
四所神社 【ししよんじや】	神前に参籠していた道智上人に託言があり、まんだら湯が発見されると伝えられている。かつてこの四所神社を境に、城崎の町は西の上部、東の下部に別れ幾度と無争いが起こり、それが城崎だんじり祭りの興りであると伝えられている。境内には本堂裏から湧き出す城崎の名水「延命水」が手洗いの水として引かれている。		豊岡市城崎町湯島447	四所神社 城崎温泉観光協会	32-2494 32-3663	
鷹野神社 【たかの】	翼鳥天神をはじめ、複数の神を祭神として祀っています。船頭たちが奉納した絵馬など、前船にまつわるものが数多く残っています。		豊岡市竹野町竹野84	鷹野神社 たけの観光協会	47-0210 47-1080	
円通寺 【えんつうじ】	月庵和尚が開山したと言われる円通寺。山名氏の菩提寺として庇護され、時義、時照のものと思われる墓が残っています。また、大石内蔵助の次男吉千代が出家した寺として知られています。		豊岡市竹野町須谷940	円通寺 たけの観光協会	47-1080	
蓮華寺 【れんげじ】	「但馬高野」とよばれた名刹です。杉や檜が繁る広い境内には、たくさん石像が集められた賈の河原があります。また、八十八か所めぐりでは紅葉も楽しめます。		豊岡市竹野町轟366	蓮華寺 たけの観光協会	47-1350 47-1080	
長楽寺 【ちやうらくじ】	境内にある樹齢500年の椿は、秀吉に攻略された時、戦死者の霊を慰めるために植えられたと伝えられる。花びらが散ると一面、赤いじゅうたんを敷き詰めたよう。		豊岡市日高町上石661	長楽寺 日高町観光協会	42-0439 45-0800	
隆国寺 【りゅうこくじ】	室町時代、山名の四天王と呼ばれた垣屋播磨守隆国の菩提寺として開基。但馬、丹波の三たん随一と称される山門は、寛政4年(1792年)の再建。1000株の「ぼたん」と「ふすま絵」で有名な寺。	拝観時間:8:00～17:00 拝観料:200円	豊岡市日高町荒川122	隆国寺 日高町観光協会	44-0005 45-0800	
出石神社 【いずし】	但馬一の宮神社として但馬開拓の祖神、天日槍と八種の宝が祭られています。古事記、日本書紀にも名を連ね、古くから山陰有数の大社として知られています。		豊岡市出石町宮内99	出石神社 但馬國出石観光協会	52-2440 52-4806	

11. 社寺

名称	概要	拝観時間等	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
宗鏡寺 【ずきょうじ】	1616年に沢庵和尚が再興したことから沢庵寺とも呼ばれ、代々出石藩の菩提寺として崇拝を受けました。寺内には沢庵作の庭園や夢見の鐘、お手植えのフビスキなど、沢庵和尚にまつわる品々が残っています。	拝観時間/8:30～16:30 拝観料/200円	豊岡市出石町東條33	宗鏡寺 但馬國出石観光協会	52-2333 52-4806	
総持寺 【そうじじ】	天平年間に開創されたと伝えられる、真言宗の古刹。本尊の11面千手観音立像は、1535年(天文4)山名祐豊が寄進したもので、兵庫県指定文化財。また、徳和と杯を祀った徳利塚もあり、裏山にはあじさい園や道祖神を祀った遊歩道があり、散策コースに最適。予約すれば、精進料理もいただくことができる。		豊岡市出石町宮内1734	総持寺 但馬國出石観光協会	52-2678 52-4806	
経王寺 【きょうおうじ】	日蓮宗。旧京街道を上がると、白亜塙のお城のような建物が目に止まる。その当時、京街道の守りも兼ねた寺。春は谷川沿いの桜が咲き、初夏には平家物語の書出して有名な沙羅双樹が咲く。		豊岡市出石町下谷6	経王寺 但馬國出石観光協会	52-3241 52-4806	
安國寺 【あんこくじ】	1345年に光厳上皇の「諸国寺塔毎国各一所」の院旨を受けて、太田氏がその菩提寺を「安國寺」とした。モリアオガエルとドウゲンツツジの紅葉はメディアに取り上げられることも多く、特に樹齢100年以上のドウゲンツツジの見頃には見物客が多く訪れる。夏椿(サウ)でも有名。		豊岡市但東町相田327	安國寺 但東シルクロード観光協会	54-0435 54-0500	
楽音寺 【がくおんじ】	但馬七福神(恵比須・大黒天・福祿寿・毘沙門天・寿老人・弁財天・布袋)のうち、寿老人(長寿・子孫繁栄の神)を祀る寺。毎年9月には、七福神まつりが行われる。境内には但馬七福神のうち「寿老人」が祭られており、当日は家内安全や健康等の願い事が書かれた塔婆が炎の中に投げ込まれ、参拝者が祈願する。福もちまき等。		豊岡市但東町大河内30	楽音寺 但東シルクロード観光協会	55-0106 54-0500	
松禪寺 【しょうぜんじ】	県指定文化財「木造薬師如来坐像」が安置されており、毎年7月第1日曜日に薬師祭が開催され、コンサートや賑やかな舞い餅等が行われる。		豊岡市但東町栗尾469	松禪寺 但東シルクロード観光協会	55-0034 54-0500	
蔵雲寺 【ぞううんじ】	大石(く)の祖父、石東源五兵衛が赤穂義士を弔い13000体の観音像をつくり、追善供養した、このうち1000体がこの寺に安置されている。		豊岡市但東町中山1151	宗鏡寺 但東シルクロード観光協会	56-0701 54-0500	
大生部兵主神社 【おおいくべひょうす】	牛の神様として親しまれ続けている「天王さん」の祭りで有名(毎年5月3日)。		豊岡市但東町薬王寺848	大生部兵主神社 但東シルクロード観光協会	55-0302 54-0500	
但馬天満宮 【たじまてんまんぐう】	平安時代に菅原一族が道真を祭人として建立したと伝わる。但馬天満宮、毎年2月第1日曜日に学業成就合格祈願祭が開催される。		豊岡市但東町奥矢根	但東シルクロード観光協会	54-0500	
日出神社 【ひで】	「延喜式神名帳」に出石23社のうち、小社として名を残す古社。三間社流造の本殿は室町時代の造営とみられています。また、境内には、後醍醐天皇の第六皇子恒良親王が幽閉されたという旧跡も。		豊岡市但東町畑山	但東シルクロード観光協会	54-0500	

12. 交通

名称	営業時間	定休	料金	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)	備考
城崎温泉ロープウェイ	始発9:10、山頂終発17:10	第2、第4木曜日(祝日の場合は運行)	大師山上駅までの往復料金 大人880円、小人440円 中間駅(温泉寺)までの往復料金 大人540円、小人270円 山上駅往復券で途中下車出来ます。 中学生以上大人料金、6才以上小人料金	豊岡市城崎町湯島806-1	城崎温泉ロープウェイ	32-2530		空中散歩を楽しみながら山頂へと昇り、展望台から湯の町の全景と円山川、日本海まで一望できる素晴らしい眺めを楽しめる。

13. その他

名称	営業時間(期間)	定休	概要	住所	問合せ先	電話番号	公共交通アクセスへのリンク (最寄り駅・バス停・時刻表・マップ)
カバンストリート	-	-	手作りかばん職人の工房、商店街の各店舗が協力したかばん展示などのかばん通り	豊岡市中央町18-7	カバンステーション	22-2089	
道の駅「神鍋高原」	9:00～21:00(11月～3月は20:00まで)	無休	レストランや温泉施設、特産品ショップ、観光案内所、無料トイレなどをを一体化した観光交流拠点施設。	豊岡市日高町栗橋野59-13	道の駅「神鍋高原」	45-1331	